

## 第2章 政策別の取組み

---

# 第1節 □ 活力とやま

## 知恵と技術を活かした活力あふれる地域づくり

### 政 策

#### I 知恵と技術を活かした産業の振興

- 1 新産業の創出
- 2 起業支援
- 3 産学官連携の推進による新技術・新商品の開発
- 4 企業立地の促進
- 5 中小企業の振興
- 6 デザインの振興と活用
- 7 商業・サービス業の振興
- 8 雇用の確保と創出
- 9 環日本海など国際経済交流の促進
- 10 農業生産の振興
- 11 森林・林業の振興
- 12 水産業の振興

#### II 観光の振興、交通・物流基盤の整備

- 13 広域観光・国際観光の振興
- 14 富山のブランドカアップ
- 15 北陸新幹線など鉄道・道路ネットワークの整備
- 16 空港・港湾などの充実による交通・物流ネットワークの形成

#### III 活力あるまちづくり

- 17 新幹線駅を中心とした新たな交流拠点づくりの推進
- 18 快適で活力あるコンパクトなまちづくりの推進
- 19 中心市街地の賑わいの創出
- 20 情報通信基盤の充実と活用

# 1 新産業の創出

## 政策目標 (政策の目指すべき成果)

新たな時代に対応し、高い技術力を有するものづくり産業などの地域の特色を活かした新産業の創出や、既存企業の新事業展開、新分野への進出等が進んでいること。

## 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) バイオ関連分野における新産業の創出	<p>■ 「とやま医薬バイオクラスター」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国の知的クラスター創成事業（第Ⅰ期）を活用した大型共同研究プロジェクトの推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の知的クラスター創成事業 地域指定：H14、事業実施期間：H15～H19</li> <li>・ 知的クラスター創成本部：(財)富山県新世紀産業機構</li> <li>・ 参加機関：富山大学、県立大学、県工業技術センター、県薬事研究所、県内外の企業等</li> <li>・ 研究分野：医薬バイオ技術と微細加工技術との融合した分野</li> <li>・ 研究内容：特定の抗原に対する抗体を網羅的に捕獲できる技術の開発、診断機器の開発、富山オリジナルの創薬開発 等</li> </ul> </li> </ul> <p>■ 「とやま医薬バイオクラスター」の発展による新たな大型研究プロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「とやま医薬バイオクラスター」の研究成果を活かし、新たなプロジェクトへの発展に向けた取組みの推進（H19～）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外のバイオ関連クラスターとの連携を図るための研究交流の推進（ドイツ・イエナのバイオクラスターとの連携等）</li> <li>・ 新たなプロジェクトにつながる研究テーマを発掘するため、産学官が連携して行う共同研究に対して助成（研究開発分野例）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バイオテクノロジーを用いた治療薬、診断薬の開発につながる研究</li> <li>・ 機能性植物や食品の開発、機能性の評価手法の研究開発</li> <li>・ タンパク解析、DNA解析による診断・治療システムの研究開発</li> <li>・ バイオ医療・診断、解析装置の研究開発 等</li> </ul> </li> <li>・ 新たなプロジェクトを推進するために必要な研究人材の発掘・育成</li> </ul> </li> <li>● 国の知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）等を活用した新たな大型共同研究プロジェクトの推進（H20以降）           <p>※競争的資金によるバイオ関連共同研究件数 【過去5年間（H13～H17）：36件→（H19～H23）：40件】</p> </li> </ul> <p>■ バイオ推進戦略会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バイオ関連施策の戦略的展開を図るため、産学官からなる「富山県バイオ推進戦略会議」を開催</li> </ul> <p>■ バイオ産業振興協会の活動に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バイオ関連情報の収集・発信</li> <li>● バイオ技術者、研究者の養成や、レベルアップのための人材育成トレーニングの実施</li> </ul>

<「主な事業等」の掲載について>

「主な事業等」は、重点施策を構成する主な事業を記載しており、■で主な事業の項目を、「●」でその実施内容を記載しています。

なお、当該事業が最も関連する重点施策（事業が本掲としてその重点施策に位置付けられている）以外の重点施策に記載されている場合には、項目もしくは実施内容の末尾に（再掲）と記載しています。

（本掲にあたる事業であっても、重点施策を構成するとは言いえないものについては、記載されていない場合があります。）

<※について>

県が取り組む事業等に係る平成23年度の目標値を掲載しています。

重点施策	主な事業等
<p>(2) ロボット分野における新産業の創出</p>	<p>■ ロボット技術関係者のネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業、大学等のロボット技術関係者の結集による「とやまロボット技術研究ネットワーク」の取組みに対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加機関：県内ロボット関連企業、富山大学、県立大学、富山工業高等専門学校等</li> <li>取組内容：研究会、セミナーの開催 等</li> </ul> </li> <li>最新ロボット技術に関するシンポジウムの開催 (県ゆかりの研究者の講演及び県内研究者との交流、企業の製品展示 等)</li> </ul> <p>■ 次世代ロボット技術に関する大型研究プロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の大型研究プロジェクトにつなげるための産学官共同研究に対する助成（H19～） <ul style="list-style-type: none"> <li>実施機関：公募による研究グループ（県内企業、大学、試験研究機関、県ゆかりの研究者等）</li> <li>実施内容：先端技術の調査研究、研究シーズの発掘、企業ニーズ調査 等</li> </ul> </li> <li>国等の競争的研究開発資金を活用した産学官連携による大型共同研究プロジェクトの推進（H20以降） <ul style="list-style-type: none"> <li>（研究開発分野例）</li> <li>産業用ロボット、サービスロボット、又はその要素技術である駆動関連技術、材料技術、センサー技術、バッテリー技術に関する研究開発 等</li> </ul> </li> </ul> <p>※競争的資金によるロボット関連共同研究件数 【H19～H23の合計件数：10件（過去実績なし）】</p>
<p>(3) IT、深層水分野等における新産業の創出</p>	<p>■ IT関連製造業の誘致推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業立地助成制度の整備</li> <li>企業立地セミナー、先端産業懇談会等の開催</li> <li>立地企業への人材・技術面でのオーダーメイド型の支援</li> </ul> <p>■ IT関連産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ITセンターにおける映像等のソフトウェア制作支援、研修事業の実施</li> <li>(株)富山県総合情報センターの支援機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>IT技術者を対象とした研修会の開催など人材育成</li> <li>産学官、地域と連携したIT関連技術の高度化に関する研究開発の促進</li> <li>セミナー、イベントを通じた情報交流活動の推進</li> </ul> </li> <li>(社)富山県情報産業協会との連携・協力</li> <li>SOHO事業者の成長支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>インキュベーション施設の提供、入居企業に対する総合的な支援</li> <li>富山県SOHO協議会の活動に対する支援</li> </ul> </li> </ul> <p>■ 深層水関連産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬、健康増進、食品など非水産分野における深層水利用研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>産学官共同研究の推進</li> <li>公募による深層水の商品化研究に対する助成</li> </ul> </li> </ul> <p>※深層水の非水産分野利用のための研究件数（県立大学、県試験研究機関での研究テーマ数）【過去5年間（H13～H17）：45件 → （H19～H23）：50件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「富山の深層水」ブランドの確立による深層水商品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>富山湾深層水のイメージアップの推進（広告宣伝、イベントへの出展等）</li> <li>深層水フォーラムの開催等による深層水活用企業の開拓</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■福祉分野における産業の振興（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•産学官と利用者の連携・協力体制の整備への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉機器開発の普及啓発</li> <li>・福祉用具等に対するアイデアコンクールの実施</li> <li>・富山産福祉機器の全国発信</li> </ul> </li> <li>•利用者ニーズに対応した福祉機器の研究開発への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉機器モニタリング事業の実施</li> <li>・しあわせ・ものづくり塾セミナーの実施</li> <li>・利用者ニーズの把握及び情報提供</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■環境分野における産業の振興（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•環境関連のNPO法人と連携した産業廃棄物の多量排出事業者に対する技術相談の実施</li> <li>•廃棄物の発生抑制、循環的利用等に関する研究開発支援</li> <li>•リサイクル認定制度によるリサイクル製品等の普及の推進</li> </ul> </li> <li>■新エネルギー分野における産業の振興（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•新エネルギー導入促進に向けた普及啓発</li> <li>•新エネルギー分野での新商品・技術開発支援</li> </ul> </li> </ul>
<p>(4) 総合的な新事業支援体制の強化充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■(財)富山県新世紀産業機構を中心とした総合的支援体制の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>•(財)富山県新世紀産業機構を中心として(独)中小企業基盤整備機構等の産業支援機関、商工会議所等の経済団体、試験研究機関、高等教育機関、金融機関などのネットワークを強化</li> <li>•各支援機関が提供する多様な支援策を、新世紀産業機構においてワンストップで提供</li> <li>•企業の成長段階に応じて、研究・商品開発から事業化までを総合的に支援</li> </ul> </li> <li>■県中小企業支援センターの機能の充実（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•豊富な知識と経験を持つ専属マネージャーによる相談支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトマネージャー、専門相談員の配置</li> <li>・経営、技術、資金等の各種相談</li> </ul> </li> <li>•専門家の派遣による助言 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営、技術、ITなど多様な分野の専門家の派遣</li> <li>・高度で専門的な課題への対応</li> </ul> </li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">※(財)富山県新世紀産業機構の中小企業支援センターにおける相談件数 【H17：1,061件 → H23：1,400件】</p> </li> <li>■産学官共同研究の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•(財)富山県新世紀産業機構に産学官連携コーディネーターを配置し、産学官共同研究を推進</li> </ul> </li> <li>■研究開発等への支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•産学官共同研究グループによる研究開発、商品開発に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県重点研究推進分野（ものづくり(ロボット等)、IT、バイオ、深層水、新エネルギー）における新技術・新商品開発</li> <li>・デザインを活用した新商品開発</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 技術開発、デザイン開発への支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 工業技術センターにおける技術開発支援 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業の技術力向上を支援するための基礎的研究の実施</li> <li>・ 企業の新製品・新技術の開発を支援するための共同研究の実施</li> <li>・ 産学官共同研究による高度な実用化研究開発の実施</li> </ul> </div> </li> <li>• 総合デザインセンターを中心とした総合的なデザイン開発支援</li> </ul> </li>   <li>■ 創業・新分野進出や経営革新の取組みに対する支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「とやま起業未来塾」における創業・新分野進出を目指す人材の育成</li> <li>• 創業間もない企業等が行う新規性、独自性の高い事業に対する助成</li> <li>• 企業に対する経営革新計画の策定指導、計画推進の支援</li> <li>• IT、バイオ、深層水等の分野での新事業創出に必要な資金の融資</li> </ul> </li>   <li>■ 建設業の新分野進出等に対する支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業合併、企業連携や新分野進出に向けての企業戦略プランの策定及び事業立上げに対する助成</li> <li>• 経営革新に関する巡回相談会の実施、アドバイザーの派遣</li> </ul> </li>   <li>■ 国などの地域経済活性化プロジェクトとの連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 経済産業省の産業クラスター計画との連携強化</li> <li>• 北陸経済連合会の北陸スーパーテクノコンソーシアムとの連携強化</li> </ul> </li> </ul>
<p>(5) IT導入・活用による業務革新等の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県中小企業支援センターにおける専門家派遣（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• ITの専門家を派遣し、相談助言</li> </ul> </li>   <li>■ 融資制度の活用による資金調達の支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業のIT化やIT機器の設備導入等に必要な資金の融資</li> </ul> </li>   <li>■ 電子商取引などIT導入・活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電子商取引等に対応したモデル的なシステム開発に対する助成</li> <li>• 電子商取引などIT導入・活用に関する普及啓発セミナーや入門・実践講座の実施</li> <li>• (株)富山県総合情報センターにおける企業のIT導入成功事例の紹介</li> </ul> </li> </ul>

## 2 起業支援

### 政策目標（政策の目指すべき成果）

起業にチャレンジする県民が増え、多様な企業家が誕生、成長し、全国、世界で事業展開する企業が出現していること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 起業家の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 起業家精神の醸成               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小中高校生、大学生等に対する職業体験等による起業家精神の醸成                   <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生：「総合的な学習の時間」での社会体験</li> <li>・中学生：「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業</li> <li>・高校生：高校でのベンチャー企業経営者の講演、企業見学会、インターンシップ、専門高校や地域の産業界との連携による、ものづくり人材など専門職業人の育成</li> <li>・大学生等：企業見学会、「経営者の一日かばん持ち」体験、インターンシップ</li> </ul> </div> </li> <li>• 若者を対象とした県内外の経営者の講演会の開催                   <p style="margin-left: 20px;">※高校生に対する企業経営者の講演会参加者数 【H17：409人 → H23：700人】</p> </li> </ul> </li> <li>■ 起業成功者の情報発信               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 富山県出身の実業家や起業成功者の顕彰・紹介</li> <li>• インターネットによる起業成功者の事例集の発信</li> </ul> </li> <li>■ 「とやま起業未来塾」の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 創業、新分野進出または地域づくりを考えている若者、女性、熟年者等を育成する実践塾の実施                   <p style="margin-left: 20px;">※とやま起業未来塾卒業生数（累計）【H18：30人→H23：155人】</p> </li> </ul> </li> <li>■ 中小企業経営者等に対する研修の実施（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中小企業の経営者、管理職等を対象とした研修の実施による人材の養成</li> </ul> </li> <li>■ 起業を支援する人材のネットワーク化               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「とやま起業未来塾」講師等の起業ノウハウや様々なビジネス情報を持つ人材をネットワーク化し、起業の相談、助言を実施</li> </ul> </li> <li>■ 農村女性起業者の育成（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 講座制研修等による企業的経営感覚にあふれた女性農業者の育成</li> </ul> </li> </ul>
(2) 起業の可能性の高い分野の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 小売業・サービス業分野における起業支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小売業やIT、福祉・介護サービス等のサービス業での起業支援</li> <li>• SOHO事業者の成長支援</li> </ul> </li> <li>■ 産学官研究グループによる新商品・新製品の開発（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 製造業分野における創業・ベンチャー企業を支援するため、産学官共同研究グループによる研究開発、商品開発に対し助成                   <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県重点研究推進分野（ものづくり(ロボット等)、IT、バイオ、深層水、新エネルギー）における新技術・新商品開発</li> <li>・デザインを活用した新商品開発</li> </ul> </div> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<p>■富山大学のTLOを中心とした技術移転の促進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富山大学に学内設置するTLO（技術移転機関）に対し、県有特許の技術移転等を委託（H19～）</li> <li>大学の研究成果、県有特許等の技術シーズと企業ニーズとのマッチングにより、技術移転を促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TLOの設置時期：H19年4月</li> <li>・ TLOへの委託業務：県有特許の技術移転、技術移転セミナーの開催、知的財産ネットワークの形成 等</li> </ul> </li> </ul>
(3) 起業のスタートアップ期の支援	<p>■インキュベーション施設を活用した起業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>起業家に対するインキュベーション施設の提供 （(財)富山県産業創造センター、(株)富山県総合情報センター、(株)富山県産業高度化センター）</li> <li>県内インキュベーション施設入居企業に対して、インキュベーションマネージャーが定期的に訪問し、指導・助言</li> </ul> <p>■創業・ベンチャー企業の設立に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規性や独自性のある事業を営む創業・ベンチャー企業の設立等に要する費用に対する助成</li> </ul> <p>■コミュニティビジネスに対する支援（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富山型デイサービス施設の整備等に対する助成</li> </ul> <p>■起業に対する融資制度の充実（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>起業に必要な設備資金や運転資金の融資</li> <li>ベンチャー企業への投資、NPO法人等への融資や、債務保証の実施</li> <li>小規模企業に対する設備導入資金の貸付</li> </ul> <p>■商談会開催による販路開拓の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とやまベンチャーマッチングフェアの開催によるベンチャー企業等とビジネスパートナー、投資家との出会いの場の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネスプランの発表及び個別商談の実施</li> <li>・ プラン発表者の新商品、トライアル発注認定商品等の展示コーナーの設置</li> </ul> </li> </ul> <p>■下請企業への支援（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取引先紹介などの発注情報の収集・提供</li> <li>販路開拓の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京、大阪、名古屋等の大都市圏での商談会の開催</li> <li>・ 展示会への出展費用に対する助成</li> </ul> </li> </ul> <p>■県の率先購入による販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県が認定した新商品を率先して購入するトライアル発注事業の実施 ※トライアル発注商品認定件数（累計） 【H17：40件→H23：160件】</li> </ul> <p>■創業・ベンチャー企業の新商品の販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マッチングアドバイザーの設置による取引先企業の開拓 （対象商品：トライアル発注商品、とやま起業未来塾修了生の開発した商品）</li> </ul> <p>■創業者に対する相談助言や専門家の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県中小企業支援センターのプロジェクトマネージャーや専門相談員による相談、助言</li> </ul>

重点施策	主な事業等
<p>(4) 起業後の成長期の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>ワンストップサービスの推進（再掲）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• (財) 富山県新世紀産業機構を中心とした産業支援機関の連携によるワンストップサービスの提供</li> <li>• 中小企業支援センターの機能の充実           <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトマネージャーや専門相談員による相談助言               <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中小企業支援センターの相談件数 【H17：1,061件→H23：1,400件】</li> </ul> </li> <li>・ 専門家の派遣による経営、金融、技術評価等の助言               <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中小企業支援センターの専門家派遣日数 【H17：1,095日→H23：1,100日】</li> </ul> </li> </ul> </div> </li> </ul> </li> <li>■ <b>技術開発、デザイン開発への支援（再掲）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 工業技術センターにおける技術開発支援           <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業の技術力向上を支援するための基礎的研究や、地域産業高度化のための研究開発の推進</li> <li>・ 企業から提案のあった課題についての共同研究の実施</li> <li>・ 工業技術センターが提案したテーマについて、企業を公募し、共同研究を実施</li> <li>・ 地域コンソーシアム研究開発事業など、国の競争的研究開発資金等を活用した共同研究の実施</li> </ul> </div> </li> <li>• 総合デザインセンターを中心とした総合的なデザイン開発支援</li> </ul> </li> <li>■ <b>(財)富山県新世紀産業機構のコーディネート機能の強化（再掲）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 産学官共同研究の中核拠点として大型共同研究プロジェクトを推進</li> <li>• 産学官連携推進センターに専任コーディネーターを配置し、県内企業の技術開発支援機能を強化           <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官共同研究のコーディネート</li> <li>・ 高等教育機関や試験研究機関の研究者情報の提供</li> <li>・ 技術開発に関する国、県等の各種助成制度についての情報提供</li> <li>・ 技術調査、特許調査の実施 等</li> </ul> </div> </li> </ul> </li> <li>■ <b>経営革新計画の策定・推進の支援（再掲）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新たな事業活動等に取り組むために企業が作成する経営革新計画の策定指導</li> <li>• 経営革新計画に基づく新事業展開に対する支援</li> </ul> </li> <li>■ <b>融資制度の充実（再掲）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業拡大のために必要な運転資金や設備資金の融資</li> </ul> </li> <li>■ <b>製品の販路開拓支援（再掲）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 東京、大阪、名古屋等の大都市圏での商談会の開催</li> <li>• 取引先紹介などの発注情報の収集・提供</li> </ul> </li> <li>■ <b>農村女性の起業支援（再掲）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 普及指導員による農村女性の地場産物を活用した起業活動への支援</li> <li>• 農村女性起業者による新商品開発や販路開拓等に対する助成</li> <li>• 農村女性起業者の事業拡大に係る施設機械の導入に対する助成</li> </ul> </li> </ul>

### 3 産学官連携の推進による新技術・新商品の開発

政策目標 (政策の目指すべき成果)

ものづくりやバイオをはじめとするさまざまな分野の研究開発機能の集積を背景に、産学官共同研究や大学等から企業への技術移転が進み、新技術や新商品が数多く開発されていること。

#### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
<p>(1) 産学官連携体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産学官連携ネットワークの形成               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「とやま産学官交流会」の開催 〔・ 経営者、研究者、技術者が集い、研究成果の発表・展示・情報交換を実施〕</li> <li style="text-align: center;">※とやま産学官交流会の参加者数 【H14～17の年平均：400人→H23：500人】</li> <li>• コーディネーター連絡会議の開催 〔・ 大学等や産業支援機関の産学官連携コーディネーターのネットワークの強化〕</li> </ul> </li> <li>■ (財)富山県新世紀産業機構のコーディネート機能の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 産学官共同研究の中核拠点として大型共同研究プロジェクトを推進</li> <li>• 産学官連携推進センターに専任コーディネーターを配置し、県内企業の技術開発支援機能を強化 〔・ 産学官共同研究のコーディネート ・ 高等教育機関や試験研究機関の研究者情報の提供 ・ 技術開発に関する国、県等の各種助成制度についての情報提供 ・ 技術調査、特許調査の実施 等〕</li> </ul> </li> <li>■ 県立大学の機能の充実（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域連携センターに専任コーディネーターを配置</li> <li>• 企業からの技術相談や、共同研究、研究委託の受入体制の整備</li> </ul> </li> <li>■ 試験研究機関の連携強化と機能の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 試験研究機関のネットワークを強化し、情報交換や共同研究を推進</li> <li>• 試験研究機関が県民ニーズに対応した効率的な試験研究活動を実施していくための外部評価の実施</li> </ul> </li> <li>■ 富山大学との連携強化（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 富山大学と連携した技術移転の促進</li> <li>• 寄附講座の設置や研究委託を通じた連携強化 (工学、医薬学、バイオテクノロジー研究や、デザイン開発分野等)</li> </ul> </li> <li>■ 国内外の大学、研究機関との連携促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 筑波研究学園都市の大学、研究機関等に在職する富山県関係者との交流により、最先端の研究情報の収集や人的ネットワークの構築を推進</li> <li>• 県内大学と国外の大学との国際学術交流の促進</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
(2) 産学官共同研究開発の促進	<p>■バイオテクノロジー関連分野における大型共同研究プロジェクトの推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国の知的クラスター創成事業（第Ⅰ期）を活用した大型共同研究プロジェクト「とやま医薬バイオクラスター」の推進</li> <li>●「とやま医薬バイオクラスター」の研究成果を活かし、新たな大型共同研究プロジェクトへの発展に向けた取組みの推進（H19～） <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外のバイオ関連クラスターとの研究交流の推進</li> <li>・研究開発分野の発掘</li> <li>・新たなプロジェクトを推進する研究人材の発掘、育成</li> </ul> </li> <li>●国の知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）等を活用した新たな大型共同研究プロジェクトの推進（H20以降）</li> </ul> <p>■ロボット分野における大型共同研究プロジェクトの推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●県内企業、大学等のロボット技術関係者の結集による「とやまロボット技術研究ネットワーク」の取組みに対する支援</li> <li>●国の大型研究プロジェクトにつなげるための産学官共同研究に対する助成（H19～）</li> <li>●国等の競争的研究開発資金を活用した大型共同研究プロジェクトの推進（H20以降）</li> </ul> <p>■深層水関連分野における共同研究の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●医薬、健康増進、食品など非水産分野における深層水利用研究の推進</li> </ul> <p>■工業技術センターにおける技術開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業の技術力向上を支援するための基礎的研究や、地域産業高度化のための研究開発の推進</li> <li>●企業から提案のあった課題についての共同研究の実施</li> <li>●工業技術センターが提案したテーマについて、企業を公募し、共同研究を実施</li> <li>●地域コンソーシアム研究開発事業など、国等の競争的研究開発資金を活用した共同研究の実施</li> </ul> <p>■県立大学における共同研究の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業等から研究者、研究費用等を受け入れ、大学の研究者と共通の課題について共同研究を実施</li> <li>●県内の企業・団体から卒業論文、修士論文のテーマを募集し、社会ニーズ・企業ニーズに応じた研究を推進</li> </ul> <p>■産学官研究グループによる新商品・新製品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産学官共同研究グループによる研究開発、商品開発に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県重点研究推進分野（ものづくり（ロボット等）、IT、バイオ、深層水、新エネルギー等）における新技術・新商品開発</li> <li>・デザインを活用した新商品開発</li> </ul> </li> </ul> <p>■大学と連携した先端的な研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●県重点研究推進分野について、県試験研究機関と大学が連携して行う先駆的・分野横断的な研究開発を推進</li> </ul> <p>■企業に対する相談機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●県試験研究機関の専門技術指導員がチームを編成し、企業を訪問して技術指導を実施</li> </ul> <p style="text-align: center;">※工業技術センターにおける企業派遣技術指導件数 【H15～17の平均：41件→H23：50件】</p> <p>■大学と連携したデザイン活用の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大学と連携し、地場産業がデザインを活用するための研究会を開催</li> </ul>

重点施策	主な事業等
(3) 知的財産の活用	<p>■富山大学のTLOを中心とした技術移転の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富山大学に学内設置されているTLO（技術移転機関）に対し、県有特許の技術移転等を委託（H19～）</li> <li>大学の研究成果、県有特許等の技術シーズと企業ニーズとのマッチングにより、技術移転を促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TLOへの委託業務：県有特許の技術移転、技術移転セミナーの開催、知的財産ネットワークの形成 等</li> </ul> </li> </ul> <p>■知的財産戦略の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知的所有権センターによる知的財産の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特許流通アドバイザーによる支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>企業訪問による特許等の知的財産の創造、保護、活用に関する普及啓発、相談指導</li> <li>※知的所有権センター特許流通アドバイザーの企業訪問件数 【H17：281→H23：320件】</li> </ul> </li> <li>・ 特許流通コーディネーターによる支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>県内中小企業のニーズの把握や特許流通の促進</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>企業の特許取得奨励のため、特許出願に要する費用を助成</li> <li>県内地域ブランドの活用を促進するため、地域団体商標、地名入り団体商標の出願に要する費用を助成 (対象者：農業協同組合、漁業協同組合、旅館業協同組合、事業協同組合等)</li> </ul>
(4) 開放型研究施設・設備の充実	<p>■試験研究機関等の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の先端的な技術開発を支援するため、試験研究機関の研究設備の整備を図り、企業への施設・設備の開放や技術指導を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>※工業技術センターにおける企業の設備利用件数 【H17：1,046件→H23：1,200件】</li> </ul> </li> </ul>
(5) ものづくり技術を支える人材の育成	<p>■子どもの頃から科学技術に親しむ機会の提供（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み期間中に「とやま科学技術週間」を設定し、試験研究機関、大学、科学館等において科学技術関連イベントを開催（夏休み子供科学教室等）</li> <li>県立試験研究機関、県立大学、民間の研究者が小中学校、高校に出向いて体験型実験や講義を行う、きらめきエンジニア事業の実施</li> </ul> <p>■研究者・技術者、産学官連携の担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の若手研究者のグループが工業技術センターと実施する共同研究に対する助成</li> <li>企業の研究者、技術者等の大学・大学院への受入れによるキャリアアップの促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>※若い研究者を育てる会の共同研究に参加した企業の研究者数(H12以降の累計) 【H17：66人→H23：120人】</li> </ul> </li> </ul>

## 4 企業立地の促進

政策目標 (政策の目指すべき成果)

成長性が高く、地域経済の発展に貢献する企業が、数多く富山に進出してきていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 総合的な企業立地環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■北陸新幹線全線整備の早期実現 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>•長野金沢間の早期完成 (遅くとも平成26年度末) (所要時間：富山・東京間 2時間7分)</li> <li>•大阪までの全線整備の早期実現 (所要時間：富山・大阪間 1時間20分)</li> </ul> </li>   <li>■高速道路網等の整備促進 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>•東海北陸自動車道の全線開通、4車線化工事の促進</li> <li>•能越自動車道の整備促進</li> <li>•地域高規格道路の整備促進 (富山高山連絡道、富山高岡連絡道、高岡環状道路等)</li> <li>•北陸と関東を結ぶ広域道路の整備促進 (中部縦貫自動車道等)</li> </ul> <p style="text-align: center;">※高速道路の整備率 (高速道路、地域高規格幹線道路の計画キロ数に対する整備割合) 【H18：63.2%→H23：67.6%】</p> </li>   <li>■富山空港の機能充実 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>•新規の国内・国際線の開設、既設路線の利用促進に向けた取組みの推進</li> <li>•利便性、安全性向上に向けた取組みの推進</li> </ul> </li>   <li>■伏木富山港等の港湾機能の充実 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>•多目的国際ターミナル、伏木外港、物流関連施設等の整備</li> </ul> <p style="text-align: center;">※伏木富山港(新湊地区)の多目的国際ターミナルにおける岸壁数、ガントリークレーン数 【H17：1バース、1クレーン→H23：2バース、2クレーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•荷役サービス等の各種物流サービスの向上</li> <li>•高速道路等へのアクセス道路や港湾周辺道路の整備</li> </ul> </li>   <li>■良質な工業用水の供給               <ul style="list-style-type: none"> <li>•富山県西部工業用水道事業 (給水能力 400,000m<sup>3</sup>/日)</li> <li>•富山八尾中核工業団地工業用水道事業 (給水能力 4,900m<sup>3</sup>/日)</li> <li>•利賀川工業用水道事業 (給水能力 8,200m<sup>3</sup>/日)</li> </ul> </li>   <li>■情報通信基盤整備への支援 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>•企業団地等における超高速ブロードバンド基盤 (100Mbps以上) の整備促進</li> </ul> </li>   <li>■産官学の連携促進 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>•IT、バイオなど、立地企業のニーズに対応した大学、試験研究機関との共同研究の推進</li> </ul> </li>   <li>■企業立地助成制度の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>•社会経済情勢や企業ニーズに対応した企業立地助成制度の整備                   <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場等の新規立地・増設に対する助成 (H19年度現在：最大50億円)</li> <li>・民間研究所等の立地に対する助成</li> <li>・特定の人材の雇用に対する助成 (対象：研究員、デザイン等の専門職の雇用者 等)</li> <li>・企業立地促進資金制度 (立地企業への融資制度) の充実と活用</li> </ul> </div> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ U・Iターンによる人材確保（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業説明会や就職相談など、U・Iターン対策の充実による就業者確保</li> </ul> </li> </ul>
(2) 積極的な企業誘致活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 先端産業分野の企業を中心とした誘致の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 成長性が高く、雇用効果の大きい先端産業分野の企業を中心とした企業誘致の展開  （重点誘致産業分野） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子部品・デバイス等の先端企業の集積を活かした「IT関連製造業」</li> <li>・ 「くすりの富山」の伝統を活かした「医薬品関連製造業」</li> <li>・ 東海北陸自動車道の全線開通による中京・東海地域との連携を活かした「機械・金属関連製造業」</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 企業立地に関する基本計画に基づく支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県、市町村、関係団体等による協議会を設置し、企業立地に関する基本計画を策定</li> <li>• 基本計画に基づき協議会が取り組む企業誘致、人材育成事業等に対する支援</li> </ul> </li> <li>■ 企業立地セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 都市圏を中心に、企業関係者を集めた立地セミナーを開催</li> </ul> </li> <li>■ 先端産業懇談会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 時代を担う先端産業を中心に、知事等のトップセールスにより、経営のトップに働きかける先端産業懇談会の開催</li> </ul> </li> <li>■ とやま立地環境体験会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 都市圏等の優れた企業を直接本県に招き、高度なものづくり技術力や産業集積、人材育成支援機関など、本県の恵まれた立地環境をPR</li> </ul> </li> <li>■ オーダーメイド型の企業誘致（人材・技術面）の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 職業訓練機関などを活用した企業の実情に応じたオーダーメイド型の産業人材の育成・確保</li> <li>• 大学、公設試験研究機関との共同研究等の提案や、取引企業の紹介など、立地企業のニーズに応じた支援の充実</li> </ul> </li> <li>■ 関係機関と連携した効率的な情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中小企業基盤整備機構等の産業支援機関、経済団体、金融機関、市町村等との情報ネットワークの強化</li> <li>• ホームページの活用による立地環境や助成制度等の情報提供</li> </ul> </li> </ul>
(3) 県内企業の規模拡大に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業立地助成制度の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県内企業の規模拡大に伴う増設投資に対する支援</li> </ul> </li> <li>■ 県内企業への定期訪問等による企業ニーズの把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県内主要企業、市町村への定期訪問、意見交換の実施</li> <li>• 県内の産業動向、企業ニーズの把握</li> <li>• 立地企業の意見・情報の収集、アフターケアの充実</li> </ul> </li> <li>■ 地域と一体となった取組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究機能の充実、人材育成など地元市町村との連携強化</li> </ul> </li> </ul>

## 5 中小企業の振興

### 政策目標（政策の目指すべき成果）

本県の産業を支える中小企業が、社会の変化に伴う新たなニーズへの対応など、柔軟性を発揮しながら、活発に企業活動を展開していること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
<p>(1) 中小企業支援体制の充実・強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 総合的支援体制の整備充実（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• (財) 富山県新世紀産業機構を中心として、産業支援機関、商工会議所・商工会等の経済団体、高等教育機関、試験研究機関、金融機関等のネットワークを強化</li> <li>• 各支援機関が提供する多様な支援策を、新世紀産業機構においてワンストップで提供</li> </ul> </li>   <li>■ 県中小企業支援センターの機能充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 豊富な知識と経験を持つ専属マネージャーによる相談支援                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・プロジェクトマネージャー、専門相談員の配置〕</li> <li>〔・経営、技術、資金等の各種相談〕</li> </ul> </li> <li style="text-align: center;">※県中小企業支援センター相談件数 【H17：1,061件→H23：1,400件】</li> <li>• 専門家の派遣による助言                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・経営、技術、ITなど多様な分野の専門家の派遣〕</li> <li>〔・高度で専門的な課題への対応〕</li> </ul> </li> <li style="text-align: center;">※県中小企業支援センター専門家派遣日数 【H17：1,095日→H23：1,100日】</li> </ul> </li>   <li>■ 巡回技術指導の実施（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県試験研究機関の専門技術指導員がチームを編成し、企業を訪問して技術指導を実施</li> </ul> </li>   <li>■ インキュベーション施設入居企業への総合的な支援（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県内のインキュベーション施設入居企業に対して、インキュベーションマネージャーによる定期的な訪問、指導・助言を実施</li> </ul> </li>   <li>■ 商工団体の取組みに対する支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 商工会議所、商工会の取組みに対する支援                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・商工会議所、商工会の組織基盤の強化〕</li> <li>〔・小規模企業に対する経営指導員等による経営改善普及事業 等〕</li> </ul> </li> <li>• 中小企業団体中央会の取組みに対する支援                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・中小企業の連携づくり〕</li> <li>〔・組合に対する指導・調査事業 等〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 中小企業との対話の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県の施策への意見等を今後の県づくりに活用</li> </ul> </li> </ul>
<p>(2) 人材育成と能力開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新規創業者、新分野進出に取り組む企業経営者の育成（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「とやま起業未来塾」の実施 (創業、新分野進出を目指す若者、女性、熟年者等を育成する実践塾の実施)</li> <li style="text-align: center;">※新規創業者の研修受講者数(とやま起業未来塾卒業生数(累計)と富山県中小企業大学の修了者数(累計)の合計) 【H17：34人→H23：184人】</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中小企業経営者の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中小企業の経営者、管理者を対象とした経営管理に関する研修の実施</li> <li>• 富山大学が実施する「富山県産業デザイン経営塾」の支援 (受講対象者：経営者、デザイナー等)</li> <li>• 協同組合等の業界団体が取り組む経営・技術に関する人材育成事業の支援</li> </ul> </li>   <li>■公共職業訓練の充実（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 職業訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学卒者訓練：基礎的な技能の修得</li> <li>・ 離転職者訓練：新たな職業に必要な知識・技能の習得</li> <li>・ 在職者訓練：職業に必要な知識・技能の追加習得</li> <li>・ 非正規雇用のニーズに応じた訓練機会の提供・充実</li> </ul> </li> <li>• 民間の教育訓練機関等を活用した委託訓練の実施</li> <li>• 企業の人材ニーズに応じたオーダーメイド型訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーダーメイド型能力開発セミナー</li> <li>・ 求人セット型（求人企業活用）訓練 等</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■企業のものづくり人材養成への支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 技能継承塾の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熟練技能者による若手技能者に対するものづくり技能の実技指導 (旋盤、フライス盤、溶接等)</li> </ul> </li> <li>• 実践型人材養成システムの普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業が主体となって実施するデュアルシステム訓練（教育訓練機関の座学と企業実習を組み合わせた訓練）の普及定着の促進 (実践型人材養成システム普及・定着アドバイザーの配置等)</li> </ul> </li> <li>• 外国人研修生の円滑な受入れに対する支援</li> </ul> </li>   <li>■技能の振興・技能尊重気運の醸成（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全国建具展示会など全国的なイベントの開催支援によるものづくりの大切さの普及啓発</li> <li>• 中小企業の技能継承のための地域における先進的な取組みに対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材育成コーディネータの配置</li> <li>・ ものづくり体験教室等の実施</li> </ul> </li> <li>• 「とやまの名匠」の認定、活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熟練技能者で、技能者育成の指導者としての活動が可能な者の認定</li> <li>・ 工業高校の生徒等への技術指導</li> </ul> </li> <li>• 技能検定、技能審査等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技能検定の実施（労働者の有する技能の評価）</li> <li>・ 企業における職業能力開発の支援</li> <li>・ 技能コンクールの開催支援</li> </ul> </li> <li>• 技能職能功労者、職業能力開発優良企業に対する表彰</li> <li>• 技能者ネットワークの構築</li> </ul> </li>   <li>■小中高校生、大学生等に対するものづくり現場体験の実施（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小学生：「総合的な学習の時間」での社会体験</li> <li>• 中学生：「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業</li> <li>• 高校生：高校でのベンチャー企業経営者の講演、企業見学会、専門高校や地域の産業界との連携による、ものづくり人材など専門職業人の育成、インターンシップ</li> <li>• 大学生等：企業見学会、「経営者の1日かばん持ち」体験、インターンシップ</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
<p>(3) 新たな事業活動の取組みへの支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経営革新計画の策定・推進の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新たな事業活動等に取り組むために企業が作成する経営革新計画の策定指導</li> <li>• 経営革新計画に基づく新事業展開に対する支援</li> </ul> </li>   <li>■ 新商品開発の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中小企業等が取り組む市場ニーズに対応した新商品・新技術開発に対する助成</li> </ul> </li>   <li>■ ベンチャー企業の新たな事業活動に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中小企業者の生産した新商品について、県が認定すれば随意契約で購入できるトライアル発注事業を実施</li> <li>• 「とやまベンチャーマッチングフェア」の開催によるベンチャー企業等とビジネスパートナー、投資家との出会いの場の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネスプランの発表及び個別商談の実施</li> <li>・ プラン発表者の新商品等の展示コーナーの設置</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 産学官共同研究グループによる研究開発、商品開発に対する助成（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県重点研究推進分野（ものづくり(ロボット等)、IT、バイオ、深層水、新エネルギー等）における新技術・新商品開発</li> <li>• デザインを活用した新商品開発</li> </ul> </li>   <li>■ 産学官共同研究の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• (財) 富山県新世紀産業機構に産学官連携コーディネータを配置し、産学官共同研究を積極的に推進</li> <li>• 大学の卒業研究等の実用化をめざす研究テーマを産学官からなる研究グループから公募し、研究費を助成</li> <li>• 工業技術センターが開発等を行った技術シーズを基に提案した研究テーマについて、共同研究企業を募集し、事業化へ向けた共同研究を実施</li> </ul> </li>   <li>■ デザイン面からの支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 総合デザインセンターを中心とした総合的なデザイン開発支援</li> <li>• (財) 富山県新世紀産業機構において、デザイナー等の専門家を企業に派遣し、相談・助言を実施</li> <li>• 中小企業が行う独自デザインの活用による新商品開発への助成</li> </ul> </li>   <li>■ IT化の促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電子商取引などITの導入・活用に対する支援</li> </ul> </li>   <li>■ 地場農産品等を活用した商品開発の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 産学官の連携等による地場農産品等を活用した“富山ならではの”の地域商品の開発推進</li> </ul> </li>   <li>■ 建設業の新分野進出等に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業合併・企業連携や新分野進出についての企業戦略プラン策定や、事業の立上げに対する助成</li> <li>• 新分野進出に顕著な成果をあげた建設企業に対する表彰の実施</li> <li>• 経営革新に関する巡回相談会の実施、アドバイザーの派遣</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
(4) 資金面の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 融資制度の活用による資金調達の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 工場、店舗の新増設や機械設備等の導入に必要な資金の融資</li> <li>• 創業や経営革新、新分野進出等に必要な資金の融資</li> <li>• 店舗改装や空き店舗進出等に必要な資金の融資</li> <li>• 事業の多角化や合理化、拡大に必要な資金の融資</li> <li>• 小規模事業者の事業に必要な資金の融資</li> <li>• 売上減少対策や連鎖倒産防止等のための経営安定に必要な資金の融資</li> </ul> </li>   <li>■ 中小企業の高度化等に対する資金貸付 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中小企業が共同して経営体質の改善や環境変化への対応を図るため、工場団地や共同店舗等を整備する事業に対する貸付</li> </ul> </li>   <li>■ 信用保証制度の活用による資金調達の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 担保力や信用力の弱い中小企業を支援するため、信用保証協会の保証制度を活用し、中小企業の資金調達を支援</li> <li>• 県融資制度の保証料を軽減するための助成や損失補償など、信用保証協会への財政支援の実施</li> </ul> </li>   <li>■ 「元気とやま中小企業総合支援ファンド」の活用による資金調達の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベンチャー企業等への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 株式や社債の引受け〕</li> <li>〔・ 社債発行する場合の債務保証〕</li> </ul> </li> <li>• 地域貢献型事業者（コミュニティビジネス事業者（NPO法人等））への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 県制度融資を受ける場合の債務保証〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
(5) 国内外における販路開拓支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「とやまベンチャーマッチングフェア」の開催（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベンチャー企業等とビジネスパートナー、投資家との出会いの場の提供</li> <li>• 個別商談の実施、新商品の展示、産学官や金融機関のネットワークの活用による販路開拓の支援</li> </ul> </li>   <li>■ 「富山プロダクツ」の販路開拓支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 機能性・デザイン性に優れた商品を「富山プロダクツ」として認定・顕彰し、認定商品の販路開拓を支援</li> <li>• 富山から生まれた優れたデザイン製品の展示会の開催（県内の大型店舗、ホテル等）</li> </ul> </li>   <li>■ 新商品の販路拡大のための総合支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 協同組合等の業界団体が実施するマーケティングから市場投入までの戦略的プランの策定に対する助成</li> <li>• 取引先の紹介等のコーディネートの実施</li> <li>• アドバイザーの設置による取引先企業の開拓</li> </ul> </li>   <li>■ 下請企業の販路開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 取引先紹介などの発注情報の収集・提供</li> <li>• 商談会開催等による支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 東京、大阪、名古屋等の大都市圏での商談会の開催〕</li> <li>〔・ 展示会への出展費用に対する助成〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海外企業との経済交流の促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 環日本海地域等の投資環境、市場動向等の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・（財）富山県新世紀産業機構の環日本海経済交流センターの機能充実</li> <li>〔・日本貿易振興機構（ジェトロ）、県大連事務所、県内金融機関の海外拠点等の連携強化〕</li> </ul> </li> <li>• 国際ビジネスにおける交流機会の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ N E A R（北東アジア経済交流 E X P O）の開催</li> <li>〔・ 県内企業の中国等の国際見本市出展に対する支援〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p>(6) 地場産業・伝統産業の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域資源を活用した新事業創出の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「地域資源活用構想」の策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 地域資源を活用した中小企業の先進的な取組みの促進に関する基本的な方針</li> <li>〔・ 地域資源の内容：技術（鋳物、漆器等）、農林水産品（魚、果物等）、観光資源（伝統芸能等）等</li> <li>〔・ 地域経済の活性化を推進する方策〕</li> </ul> </li> <li>• 地域資源を活用した県内企業の取組みの発掘や、発掘された取組みの事業化に向けた検討の実施</li> <li>• 「とやま発 新事業チャレンジ支援基金」の創設 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 基金の運用益を活用し、地域資源の活用による中小企業者の新事業展開を支援〕</li> <li>〔・ 新商品・新サービスの開発から販路開拓までの総合的な支援〕</li> </ul> </li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">※地域資源を活用した新事業支援件数 【H23：30件】</p> </li> <li>■ 地域産業活性化の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業等が取り組む市場ニーズに対応した新商品・新技術開発の支援</li> <li>• 協同組合等の業界団体が取り組む経営・技術に関する人材育成事業の支援</li> <li>• 協同組合等の業界団体が実施するマーケティングから市場投入までの戦略的プランの策定、取引先の紹介等のコーディネートなど、販路開拓の支援</li> </ul> </li> <li>■ 優れたデザインの活用（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 総合デザインセンターを中心とした総合的なデザイン開発支援</li> <li>• 「富山・ミラノデザイン交流倶楽部」の活動支援により、ミラノ在住デザイナーと県内企業との共同商品開発を促進</li> <li>• 富山大学と連携し、地場産業におけるデザイン活用を促進</li> </ul> </li> <li>■ 伝統的工芸品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県外で開催される展示会等への出展支援</li> </ul> </li> <li>■ 首都圏での県産品のPR・販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 東京アンテナショップ「いきいき富山館」の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 特産フェアの開催や試食販売の実施</li> <li>〔・ 観光情報をはじめ、Uターン、グリーン・ツーリズム等の情報を提供〕</li> <li>〔・ 写真展や工芸作品などの企画展の開催〕</li> </ul> </li> <li>• 首都圏等における物産と観光展の開催</li> </ul> </li> <li>■ 企業のものづくり人材養成への支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 技能継承塾の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 熟練技能者による若手技能者に対するものづくり技能の実技指導〕</li> <li>〔（旋盤、フライス盤、溶接等）〕</li> </ul> </li> <li>• 実践型人材養成システムの普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 企業が主体となって実施するデュアルシステム訓練（教育訓練機関の座学と企業実習）を組み合わせた訓練〕の普及定着の促進</li> <li>〔・ 実践型人材養成システム普及・定着アドバイザーの配置等〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<p>■技能の振興・技能尊重気運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中小企業の技能継承のための地域における先進的な取組みに対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・人材育成コーディネータの配置〕</li> <li>〔・ものづくり体験教室等の実施〕</li> </ul> </li> <li>●「とやまの名匠」の認定、活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・熟練技能者で、技能者育成の指導者としての活動が可能な者の認定〕</li> <li>〔・工業高校の生徒等への技術指導〕</li> </ul> </li> <li>●技能検定、技能審査等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・技能検定の実施（労働者の有する技能の評価）〕</li> <li>〔・企業における職業能力開発の支援〕</li> <li>〔・技能コンクールの開催支援〕</li> </ul> </li> <li>●技能職能功労者、職業能力開発優良企業に対する表彰</li> <li>●技能者ネットワークの構築</li> </ul> <p>■くすりの生産拠点化への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●医薬品開発の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・医薬品製造業者が共同で行う製品開発研究への支援〕</li> <li>〔・富山大学との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携による寄附講座の設置 （和漢医薬学総合研究所に「和漢薬製剤開発研究部門」を設置、大学院医学薬学研究部に「免疫バイオ・創薬探索研究講座」を新設）</li> <li>・和漢薬・バイオテクノロジーに関する基礎的研究の委託</li> <li>・フォーラム富山「創薬」が行う産学官の情報交換や交流事業への助成</li> </ul> </li> <li>〔・和漢薬開発、製薬機械や試験機器設備の投資に必要な資金の融資〕</li> <li>〔・とやま治験医療ネットワーク事業の推進〕</li> </ul> </li> <li>●生産拠点の基盤づくりへの支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・GMP（医薬品製造・品質管理基準）アドバイザーの派遣〕</li> <li>〔・とやまのくすり情報ライブラリー（富山大学附属図書館を利用した医薬品製造業者の副作用情報収集の支援）の構築〕</li> <li>〔・医薬品製造業者が共同で行う技術向上研究への支援〕</li> <li>〔・医薬品の共同物流化システム構築への支援〕</li> </ul> </li> </ul> <p>■「富山のくすり」のブランド力の維持強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「富山のくすり」のPR <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・「富山くすりフェア」の開催〕</li> <li>〔・医薬品の広報宣伝活動に対する助成〕</li> </ul> </li> <li>●人材育成への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・配置従事者に対する資質向上・研修の実施（県薬業研修センター）〕</li> <li>〔・配置薬業への後継者の育成確保に対する助成〕</li> </ul> </li> <li>●懸場帳購入に必要な資金の融資</li> <li>●くすりを介した国際交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・「世界の薬都」バーゼルとの交流の推進〕</li> <li>〔・モンゴルにおける配置システム普及への支援〕</li> <li>〔・配置薬業の活性化に対する助成〕</li> </ul> </li> </ul>

## 6 | デザインの振興と活用

政策目標 (政策の目指すべき成果)

デザイン性に優れ、高機能で、消費者の感性に合致した製品が数多く開発されていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) デザインを活かした魅力的な商品開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 総合デザインセンターを中心とした総合的なデザイン開発支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>• (株)富山県産業高度化センターや高岡市デザイン・工芸センター等との連携により、企業が取り組む商品企画からデザイン開発、流通販売までを総合的に支援</li> <li>• 県内企業との新商品の共同開発</li> <li>• 3次元CAD/CAMを用いたデザインの研究開発</li> <li>• 伝統工芸の素材や技術を活かした新しいデザイン、加工技術の研究開発</li> <li>• デザイン工房やモックアップ工房等のデザイン施設の開放と技術指導</li> <li>• デザイン改善セミナー、相談会の開催</li> <li>• 「富山県産業デザイン経営塾」の活動に対する支援                   <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者：県内企業経営者、デザイナー等</li> <li>・ 県内企業のデザイン戦略への理解を深めるため、魅力ある商品や独自ブランドの構築を支援</li> </ul> </div> </li> </ul> </li> <li>■ デザイン開発支援（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中小企業が行う独自デザインの活用による新商品開発への助成</li> </ul> </li> <li>■ デザイナー等の派遣（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• (財) 富山県新世紀産業機構において、デザイナー等の専門家を企業に派遣し、相談・助言を実施</li> </ul> </li> <li>■ 販路開拓支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 機能性・デザイン性に優れた商品を「富山プロダクト」として認定・顕彰し、認定商品の販路開拓を支援</li> <li>• 富山から生まれた優れたデザイン製品の展示会の開催（県内の大型店舗、ホテル等）</li> </ul> </li> <li>■ デザイン展等の開催支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「デザインウエーブイン富山」の開催や各種デザイン展の開催支援により、新たなデザイン提案や、デザイナーと企業とのビジネスマッチング機会を提供</li> <li>• 「富山プロダクトデザインコンペティション」等のコンペ開催による新たなアイデアの創出</li> </ul> </li> <li>■ ユニバーサルデザインの研究開発と普及促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユニバーサルデザインの研究開発、デザイン展の開催</li> </ul> </li> </ul>
(2) デザイン交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「富山・ミラノデザイン交流倶楽部」の活動支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 富山支部（事務局：(社) 富山県デザイン協会）、ミラノ支部の設置</li> <li>• イタリア・ミラノとの工業デザイン分野での交流促進</li> <li>• ミラノ在住デザイナーと県内企業との共同商品開発の促進</li> </ul> </li> <li>■ 地場産品等の海外国際見本市への出展支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>• デザインを活用した地場産品等の欧州（ミラノ、パリ、フランクフルト等）の国際見本市出展に対する支援</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■企業とデザイナーの交流促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「デザインウエーブイン富山」の開催や各種県内デザイン展の開催支援</li> <li>• 県内デザイナーによるナイトフォーラムの開催</li> <li>• デザイナーネットワークの形成</li> </ul> <p style="text-align: center;">※デザインウエーブイン富山のデザインセミナー来場者数(平成12年からの累計) 【H17: 532人→H23: 1,100人】</p> </li> <li>■デザイン情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>• デザインに関する国内外の最新情報を企業やデザイナーに発信</li> </ul> </li> </ul>
(3) デザイン意識の啓発と人材育成の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■デザイン意識の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>• デザイン展やフォーラム等の開催を通じて魅力的なデザインを紹介し、県民や企業のデザインに対する意識を啓発</li> </ul> </li> <li>■デザイン人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>• デザイナーや企業内デザイン従事者のデザイン開発力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・最先端のデザイン開発技術研修の実施〕</li> <li>〔・商品開発に関する講習会の開催 等〕</li> </ul> <p style="text-align: center;">※総合デザインセンターのデザイン講習会受講者数 (H12年度以降の累計) 【H17: 1,283人→H23: 2,600人】</p> </li> <li>• 最新のデザイン情報の発信による県内企業のデザイン活用意識の啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・デザインライブラリーの開放〕</li> <li>〔・機関紙の発行 等〕</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■デザインを戦略的に活用する企業経営者の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 経営者を対象とした意識啓発セミナーの開催</li> <li>• 富山大学が実施する経営者やデザイナーを対象とした「富山県産業デザイン経営塾」の運営に対する支援</li> </ul> </li> </ul>

## 7 商業・サービス業の振興

### 政策目標（政策の目指すべき成果）

地域の特色を活かした魅力あふれる商店街が賑わっているとともに、様々な分野での新しいサービス業が活発に展開されていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 魅力ある商店街づくり、商店街の再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中心市街地活性化基本計画への支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村の中心市街地活性化基本計画の策定に対する支援</li> <li>・ 基本計画に基づいて実施するソフト事業など活性化事業への支援</li> </ul> </li>   <li>■ 大規模小売店舗立地法の特例措置による大型店の中心市街地への誘導               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地で大規模小売店舗立地法の特例措置を適用し、県への事前届出など大型店出店時の出店手続き等を簡素化</li> </ul> </li>   <li>■ 大規模集客施設の適正な立地の誘導               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模集客施設の立地に係る市町村の都市計画決定にあたり、県が、周辺市町村の意見をふまえ広域的な観点から、その同意の是非を判断（改正都市計画法）</li> </ul> </li>   <li>■ 商店街に不可欠な店舗等の再生に対する支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生鮮食料品や日用雑貨品などの日常生活に不可欠な店舗の再生に対する支援</li> </ul> </li>   <li>■ 商店街活性化の自助努力に対する支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街が自ら取り組む独自の総合的な活性化策に対する支援</li> <li>・ NPO法人等が行うイベント等のまちの賑わいを創出する取組みに対する支援</li> <li>・ 店舗経営や商店街の活性化の取組みに対する融資</li> </ul> </li>   <li>■ まちづくりのための人材の育成に対する支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街組合、商工会、商工会議所や街づくり会社等が行うまちづくりのリーダーを養成する研修会の開催など、人材の育成に対する支援</li> </ul> </li> </ul>
(2) 事業者の経営革新への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業者の経営革新に向けた取組みに対する支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工会・商工会議所の取組みに対する支援                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 小規模事業者に対する経営改善の普及・指導</li> <li>〔・ 中小企業大学校を開講し、経営者・管理者を対象とした経営管理に関する研修の実施〕</li> </ul> </li> <li>・ 県中小企業支援センターによる支援（再掲）                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 豊富な知識と経験を持つ専属マネージャーによる経営、技術、資金等に関する各種相談の実施</li> <li>〔・ 高度で専門的な課題に対して、経営、技術、ITなど多様な専門家を派遣し、助言等を実施</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>※県中小企業支援センターでの事業者への指導相談件数（卸売、小売、サービス業の合計） 【H23：420件】</li>   <li>・ IT導入・活用による業務革新等の促進（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 電子商取引等に対応したモデル的なシステム開発に対する助成</li> <li>〔・ 電子商取引などIT導入・活用に関する普及啓発セミナーや入門・実践講座の実施</li> <li>〔・ 企業のIT化やIT機器の設備導入等に必要な資金の融資</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 商工団体等による売れ筋商品や繁盛店等の情報提供に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 商店街組合、商工会や商工会議所等が行うインターネットを活用した売れ筋商店や繁盛店等の情報提供に対する支援</li> </ul> </li> <li>■ 後継者育成などの人材確保・育成に対する支援（再掲）</li> </ul>
(3) 新たなサービス業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生活充実型サービス分野（福祉・健康、子育て等）における創業、新事業展開の促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 創業を目指す若者、女性、熟年者等の人材育成の推進</li> <li>• 新分野進出を目指す企業の経営者等を対象とした研修の実施</li> </ul> </li> <li>■ 事業充実型サービス（IT、デザイン等）に対する支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報サービス分野における支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ ITセンターにおけるソフトウェア制作支援、研修事業の実施〕</li> <li>〔・ SOHO事業者の成長支援〕</li> </ul> </li> <li>• デザイン分野における支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 最先端のデザイン開発技術研修の実施〕</li> <li>〔・ デザイナーと企業とのビジネスマッチング機会の提供〕</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 地域貢献型事業（コミュニティビジネス）への支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• コミュニティビジネスを行う事業者に対する融資</li> </ul> </li> </ul>

## 8 雇用の確保と創出

### 政策目標（政策の目指すべき成果）

個々人の意欲と能力に応じた多様な雇用の機会が確保され、誰もが安心して働ける就業環境の中で、いきいきと働いていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
<p>(1) 魅力ある雇用創出と雇用の安定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新産業の創出、企業誘致等による魅力ある職場確保や雇用創出（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイオ、ロボット、IT、深層水等の分野での新産業の育成・創出</li> <li>• (財) 富山県新世紀産業機構を中心とした県内企業に対する支援体制の充実</li> <li>• 企業誘致の推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 先端産業分野を中心とした企業誘致や企業の本社機能の誘致〕</li> <li>〔・ 企業立地助成制度の整備〕</li> <li>〔・ 企業立地セミナー、先端産業懇談会等の開催 等〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 新規創業の促進による雇用創出（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「とやま起業未来塾」の運営                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 創業、新分野進出又は地域づくりを考えている若者、女性、熟年者等を育成する実践塾〕</li> </ul> </li> <li>• インキュベーション施設の提供や、入居企業に対する総合的支援</li> <li>• 創業・ベンチャー企業の設立に要する費用の助成、融資制度の充実</li> </ul> </li>   <li>■ 中小企業における雇用の維持・安定（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中小企業融資制度を活用した資金調達の支援</li> <li>• 新分野進出等を旨とする中小企業の人材確保・育成等の改善計画の認定</li> </ul> </li>   <li>■ 首都圏等における県内中小企業の人材確保の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 首都圏等の大学等との連携強化による中小企業の人材確保の促進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 大学等相談員の首都圏等の大学への訪問による情報交換の推進〕</li> <li>〔・ 県内中小企業の技術力等の魅力、採用情報等の情報を大学に提供〕</li> <li>〔・ 大学の学内セミナー等の情報を県内中小企業に提供〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 企業経営者等への意識啓発               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 複線型採用の導入など、雇用や人材育成についての企業経営者等への意識啓発の推進</li> </ul> </li>   <li>■ U・Iターンの推進（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• Uターン情報センターにおける情報提供や就職相談の実施 (Uターン情報センター：富山、東京、大阪、名古屋)</li> <li>• いきいき富山館（東京アンテナショップ）におけるUターン就職相談の実施</li> <li>• 東京Uターン情報センターにおける定期的なミニ企業説明会の開催</li> <li>• 民間就職支援会社との連携によるU・Iターンの推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 全国でのU・Iターン就職相談の実施〕</li> <li>〔・ 県内企業の求人開拓〕</li> </ul> </li> <li>• 「元気とやま！就職セミナー」の開催                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 対象：県出身の大学卒業予定者等〕</li> <li>〔・ 開催場所：東京、大阪、名古屋等〕</li> <li>〔・ 県内優良企業、本県の魅力や将来像等の情報提供等〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「Uターンフェア・イン・とやま」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・対象：帰省中の大学生等</li> <li>〔・本県の産業、企業の魅力等の紹介、合同企業説明会〕</li> </ul> </li> <li>● 県外大学等在学生の父母を対象としたセミナーの開催</li> <li>● 首都圏等の高い技術を持つ地方就職希望者などを対象としたUターン就職の促進（セミナーの開催、県内企業見学ツアーの実施など）</li> </ul> <p>■ 農林水産業の新規就業者の確保と育成（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 次代を支える新規就業者・青年就業者の確保、育成</li> </ul>
(2) 働く人に応じた多様な就業の促進	<p>■ 富山県若者就業支援センター（ヤングジョブとやま）による若者の就業促進(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 就職に関する情報提供や職業相談の実施</li> <li>● 高校生等への就職支援講座（出前講座）、職場見学会の開催</li> <li>● 大学生等就職支援セミナーの開催</li> <li>● 若者のための合同企業説明会の開催</li> </ul> <p>■ 女性が能力を発揮できる就業環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 男女雇用機会均等法等の周知・啓発</li> <li>● 女性労働者が十分に能力を発揮することができるように、企業における積極的取組み（ポジティブ・アクション）を促進</li> <li>● 女性の就業を支援するための県民共生センターでの各種講座やセミナーの開催（再掲）</li> <li>● 企業における男女共同参画チーフ・オフィサー（推進責任者）の設置促進（再掲）</li> </ul> <p>■ 高齢者の就業促進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 65歳までの定年の引上げ、継続雇用制度の導入等の高年齢者雇用確保措置の普及促進</li> <li>● 団塊の世代の退職者に対する多様な就業機会の確保のため、シルバー人材センターが行う就業開拓活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・就業機会創出員の配置</li> <li>〔・会員を活用した就業機会創出補助員の配置</li> <li>〔・新規受注促進のための割引制度の拡充〕</li> </ul> </li> <li>● 県シルバー人材センター連合会への運営費助成</li> </ul> <p>■ 障害者雇用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害者雇用率達成に向けての周知・啓発</li> <li>● 職場適応訓練の実施</li> <li>● 障害者雇用推進員による事業所訪問 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・障害者雇用施策の周知・啓発〕</li> <li>〔・障害者の求人情報の収集〕</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">※障害者雇用推進員の訪問事業所数（H17以降の累計） 【H17：491事業所 → H23：1,400事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 知的・精神障害者雇用奨励金の支給（一定数を超えて知的障害者・精神障害者を雇用する事業主に支給）</li> <li>● 障害者の自立を支援するための基金の設置、基金を活用した職場実習受入企業の設備整備への支援（再掲）</li> <li>● 障害者就業・生活支援センターにおける短期間の職場実習への支援</li> <li>● 民間の教育訓練機関等へ委託しての公共職業訓練の実施（再掲）</li> </ul>
(3) 個性と能力を活かす職業能力開発	<p>■ 公共職業訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術専門学院の整備充実、コーディネート機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術専門学院砺波センターの改修（H19） 整備費110百万円</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職業訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 学卒者訓練：基礎的な技能の習得</li> <li>・ 離転職者訓練：新たな職業に必要な知識・技能の習得</li> <li>・ 在職者訓練：職業に必要な知識・技能の追加習得</li> <li>・ 非正規雇用者のニーズに応じた訓練機会の提供・充実〕</li> </ul> </li> <li>● 民間の教育訓練機関等を活用した委託訓練の実施</li> <li>● 施設内の基礎的訓練と企業実習を組み合わせたデュアルシステム訓練の実施</li> <li>● 企業の人材ニーズに応じたオーダーメイド型訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ オーダーメイド型能力開発セミナー</li> <li>・ 求人セット型（求人企業活用）訓練 等〕</li> </ul> </li> </ul> <p>■ 関係機関との連携強化、教育訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雇用・能力開発機構との連携強化（北陸職業能力開発大学校、ポリテクセンター富山）</li> <li>● 職業能力開発協会が行う技能振興の取組みに対する支援</li> <li>● 工業高校等との連携による人材育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 高校生ものづくり人材育成事業の実施</li> <li>・ 高等専門学校等を活用した中小企業の人材育成事業の実施〕</li> </ul> </li> </ul> <p>■ 認定職業訓練の実施に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県の認定を受けた職業訓練を実施する事業主団体に対する助成</li> </ul> <p>■ 企業のものづくり人材養成への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 技能継承塾の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 熟練技能者による若手技能者に対するものづくり技能の実技指導（旋盤、フライス盤、溶接等）〕</li> </ul> </li> <li>● 実践型人材養成システムの普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 企業が主体となって実施するデュアルシステム訓練（教育訓練機関の座学と企業実習）を組み合わせた訓練）の普及定着の促進（実践型人材養成システム普及・定着アドバイザーの配置等）〕</li> </ul> </li> <li>● 外国人研修生の円滑な受入れに対する支援</li> </ul> <p>■ 技能の振興・技能尊重気運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国建具展示会など全国的なイベントの開催支援によるものづくりの大切さの普及啓発</li> <li>● 中小企業の技能継承のための地域における先進的な取組みに対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ ものづくり人材育成コーディネータの配置</li> <li>・ ものづくり体験教室等の実施〕</li> </ul> </li> <li>● 「とやまの名匠」の認定、活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 技能伝承や後継者育成に熱意を持つ熟練技能者の認定</li> <li>・ 工業高校の生徒等への技術指導〕</li> </ul> </li> <li>● 技能検定、技能審査等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 技能検定の実施（労働者の有する技能の評価）</li> <li>・ 企業における職業能力開発の支援</li> <li>・ 技能コンクールの開催支援〕</li> </ul> </li> <li>● 技能職能功労者、職業能力開発優良企業に対する表彰</li> <li>● 技能者ネットワークの構築</li> </ul> <p>■ 技能競技大会出場選手の支援及び養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 技能五輪全国大会等に出場する選手に対する支援</li> <li>● 県内の若年技能者のリーダーとなる資質を持った若年技能者の養成</li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 将来のものづくりを支える人材育成（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小学生：「総合的な学習の時間」での社会体験の実施</li> <li>• 中学生：「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業の実施</li> <li>• 高校生：高校でのベンチャー企業経営者の講演や企業見学会の実施、専門高校と地域産業界との連携によるものづくりを支える職業人の育成、インターンシップ活動の推進</li> <li>• 大学生等：企業見学会や「経営者の1日かばん持ち」体験の実施、インターンシップ活動の推進</li> </ul> </li> <li>■ 大学等でのリカレント教育の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会人特別選抜制度の充実による社会人学生の受入れ促進</li> <li>• 県立大学における社会人研究生制度（論文準修士制度）による社会人のキャリアアップや再チャレンジの支援</li> </ul> </li> </ul>
<p>(4) 安心して働ける雇用環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 労働条件の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 労働相談の実施</li> <li>• 個別労働関係紛争のあっせんの実施</li> </ul> </li> <li>■ 勤労者福祉の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 労働福祉団体への助成</li> <li>• 勤労者福祉施設の運営に対する支援</li> <li>• 勤労者融資制度の充実</li> <li>• 中小企業勤労者福祉サービスセンターの自立化及び事業の活性化を促進</li> </ul> </li> <li>■ 子育てを応援する中小企業への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般事業主行動計画の策定支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事と子育て両立支援推進員の企業訪問による策定支援や各種情報提供</li> <li style="text-align: center;">※仕事と子育て両立支援推進員の派遣回数（H17以降の累計）</li> <li style="text-align: center;">【H17：400社 → H23：2,500社】</li> <li>・ 事業主に対する一般事業主行動計画策定に向けての研修会の実施</li> </ul> </li> <li>• 中小企業の子育て支援を促進する取組みへの支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業の顕彰</li> <li>・ 子育て支援企業エントリー制度の実施 (行動計画策定企業の取組みを県のホームページに掲載)</li> <li>・ 子育て支援に取り組む中小企業に対する人材確保支援 (子育て支援に取り組む中小企業による合同企業説明会の開催)</li> </ul> </li> <li>• 育児休業制度の定着や父親の子育て参加の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 父親の育児休業の取得促進など、子育て参加の促進 (父親の子育て参加体験談、企業の労働時間短縮の取組み事例集等の作成、配布)</li> <li>・ 企業向け子育て支援パンフレット等による育児休業制度の周知</li> </ul> </li> <li>• 事業所内保育施設の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所内保育施設の設置・運営費に対する助成（乳幼児定員：10人未満）</li> <li>・ 複数企業による共同設置のための企業間調整業務に対する助成</li> </ul> </li> <li>• 労働時間短縮に向けた普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年次有給休暇の取得促進</li> <li>・ ノー残業デーの導入 等</li> </ul> </li> <li>• 多様な保育サービス等の充実（再掲）</li> </ul> </li> <li>■ 多様な働き方の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• パートタイム労働法や労働者派遣法等の周知・啓発</li> <li>• 子育て中の女性に合わせた就業形態導入の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短時間勤務</li> <li>・ フレックスタイム制の導入 等</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

## 9 | 環日本海など国際経済交流の促進

### 政策目標 (政策の目指すべき成果)

新たなビジネスチャンスを求めて、県内企業の環日本海地域などへの進出が続くとともに、幅広い分野で取引が増加するなど、国際的な経済交流が拡大していること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 経済情報提供・相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環日本海経済交流センターにおける情報提供               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報誌、ホームページ・メールマガジンによる中国など環日本海地域の投資環境、市場動向等の情報発信</li> <li>• 投資環境セミナー、貿易実務講座等の開催</li> <li>• 貿易投資アドバイザーによる県内企業に対するコンサルティングの充実                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※貿易投資アドバイザーによる県内企業に対するコンサルティング件数 【H17：98件→H23：130件】</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 県大連事務所の設置運営（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県内企業に対する、中国の法制度や投資環境、市場動向等の情報提供</li> </ul> </li> <li>■ 日本貿易振興機構等の関係団体の連携による情報提供               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本貿易振興機構（ジェトロ）、県大連事務所、県内金融機関の海外事務所等の関係機関との連携による県内企業への情報提供</li> </ul> </li> </ul>
(2) 国際ビジネスにおける交流機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環日本海地域を対象とした展示商談会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>• NEAR（北東アジア経済交流EXPO）の開催                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示商談会の開催</li> <li>・ 各地域の投資環境等に関するセミナー、シンポジウムの実施</li> </ul> </li> <li>• 参加企業の商談成立に向けた支援</li> </ul> </li> <li>■ 県内企業の海外国際見本市への出展支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県内企業の中国等の国際見本市出展に対する支援                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※海外国際見本市への出展助成件数 【H17：9社→H23：12社】</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 海外商談ミッションの派遣・受入れ               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 環日本海地域へ企業経営者等によるミッションを派遣                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 派遣地域：中国（大連・瀋陽等東北地方、華北・北京周辺、華東・上海周辺・長江流域）等</li> <li>・ 国際見本市への出展、セミナー開催、現地政府・企業への訪問、商談の実施</li> <li>・ 環日本海地域等からのミッション受入れによる交流の推進</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 研究開発、工業デザイン分野における交流の推進（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 医薬・バイオ分野など海外の研究機能・産業の集積地域との研究交流の推進</li> <li>• 県内の企業・デザイナーと、イタリア・ミラノのデザイナーとの交流を深め、魅力的な商品開発を促進する「富山・ミラノデザイン交流倶楽部」の活動に対する支援</li> </ul> </li> <li>■ 国際経済会議の開催・参加               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 北陸（日本）・韓国経済交流会議への参加</li> <li>• 北東アジア経済フォーラムなど環日本海地域を対象とした国際会議の開催</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■北陸三県の共同による投資環境のPR <ul style="list-style-type: none"> <li>•北陸地域の投資環境のPR、外国企業の誘致促進</li> </ul> </li> <li>■富山県との経済交流を支える人材の育成（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•研究者、技術者等の海外からの招聘、派遣</li> <li>•中国遼寧省等の友好提携先などからの留学生等の受入れや、研修生、技能実習生の受入れ支援</li> </ul> </li> </ul>
<p>(3) 空港、港湾等の経済交流基盤の充実と利用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■富山空港の国際航空路の充実・利用促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•県内及び近県におけるPRの実施</li> <li>•利用しやすいダイヤ設定や既設路線の増便、新規路線の開設に向けた航空会社等の関係機関への働きかけ</li> </ul> </li> <li>■国際・国内航路の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>•中国等のアジアにおける貨物の増大を踏まえた、定期コンテナ船等国際航路の充実</li> <li>•RORO船の定期航路化等による国内航路の充実</li> </ul> </li> <li>■伏木富山港のポートセールス活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>•「とやま物流戦略」に基づく、県内企業等に対する伏木富山港利用促進の働きかけや、船社に対する定期コンテナ航路充実、RORO船の定期航路化の働きかけなど、ポートセールス活動の強化</li> <li>•船社や荷主企業に対するインセンティブ制度を活用したポートセールスの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・伏木富山港に定期コンテナ船、RORO船等を寄港させる船社に対する助成</li> <li>・伏木富山港の新規利用や利用拡大を図る荷主企業に対する助成</li> </ul> </li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">※伏木富山港のポートセールス活動により働きかけを行った企業数 【H17：141企業→H23：300企業】</p> </li> </ul>

## 10 農業生産の振興

### 政策目標（政策の目指すべき成果）

意欲ある担い手により、消費者ニーズに対応した魅力的な県内農産物が、安定して供給されていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
<p>(1) 法人化等への経営発展の推進と人材の育成・確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 品目横断的経営安定対策の対象となる担い手の育成と規模拡大による力強い地域営農体制の確立               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 認定農業者の育成、集落営農の組織化、経営規模の拡大などの促進</li> <li>● 品目横断的経営安定対策の対象となる担い手の県内耕地面積に占める割合の増加                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担い手育成総合支援協議会による活動支援</li> <li>・ 農地集積（売買、使用貸借）に対する支援</li> <li>・ 農業機械導入のための助成、融資</li> <li>・ 生産施設、加工施設及び流通販売施設等の整備支援</li> <li>・ 災害補償制度等による経営安定化への支援</li> <li>・ 市町村、農業団体など関係機関の連携による地域営農活動への支援</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 米政策の着実な推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 米の生産調整などの推進指導の実施</li> <li>● 県水田農業推進協議会及び市町村等の米政策推進に対する助成</li> <li>● 麦・大豆や園芸作物等の振興による収益性の高い水田農業の取組みに対する助成</li> </ul> </li> <li>■ 農業生産施設・機械の整備等の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● J A等における米、大豆等の生産用施設・機械の整備等に対する助成</li> </ul> </li> <li>■ 担い手の法人化など経営発展の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 法人化手続き等への支援など、認定農業者や集落営農の法人化推進</li> <li>● 園芸作物の導入に対する助成など、稲作農家等の複合化の推進</li> <li>● 直売や農産加工への新たな取組みに対する支援など、経営多角化の促進</li> <li>● 農村女性の意欲的な起業活動に対する支援</li> <li>● コンサルタントの派遣などによる経営管理指導の推進</li> </ul> </li> <li>■ 稲作等に特化した農業構造の改善               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 園芸農家の認定農業者への誘導や稲作農家等の園芸導入による安定的・継続的な園芸経営体の育成</li> <li>● 地域内での作物生産と畜産業との連携の取組みや畜産企業の誘致など、魅力ある畜産経営体の育成</li> <li>● 畜産農家の経営改善を図るためのコンサルタントによる総合的な支援指導</li> </ul> </li> <li>■ 農業経営を支える人材の育成・確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規就農者、青年農業者等に対する研修制度の充実</li> <li>● 経営研修等による女性農業者の経営参画や起業活動の促進</li> <li>● 認定農業者等を対象とした「農業版ビジネススクール」の実施（経営理念、財務・労務・流通・販売・生産管理等の経営講座）</li> <li>● 認定農業者等を対象とした普及指導センターによる経営改善や経営発展への支援</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
<p>(2) 消費者ニーズに対応した農業生産と「食のとやまブランド」の育成・強化</p>	<p>(穀物生産の振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主要農作物の優良種子生産の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 種子生産ほ場の指定、ほ場及び生産物審査等の実施</li> <li>● 主要農作物の採種事業に対する助成</li> <li>● 日本一のとやま種もみ生産基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 農業試験場における原種生産施設の整備〕</li> <li>〔・ 地域での生産拡大用施設等の整備への支援〕</li> <li>〔・ 高品質種子の生産指導、県産種子のPR推進〕</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 美味しく元気な富山米の生産対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 米づくりに対する総合的な指導や、新品種の計画的な作付け促進に向けての指導</li> <li>● 直播用機械整備等に対する助成</li> <li>● 生産者団体の米づくり活動に対する助成</li> <li>● 元気な土づくりの推進（研修会の開催、土壌診断指導、有機資源活用等の技術指導）</li> </ul> </li> <li>■ 麦・大豆の生産流通対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 麦・大豆生産に関するモデル集団の育成</li> <li>● 生産技術向上対策の推進</li> <li>● 県産大豆の需要拡大に向けた取組みに対する助成</li> </ul> </li> <li>■ 環境にやさしい農業の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農薬・化学肥料の低減技術等の普及指導の実施</li> <li>● エコファーマー等の活動への支援</li> <li>● 農薬・化学肥料の大幅な使用低減等を実践する地域等への支援</li> <li>● 農業用廃プラスチックの適正処理に対する助成</li> <li>● バイオ燃料等のバイオマスの利活用の促進</li> </ul> </li> <li>■ 植物防疫の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病害虫の発生予測調査等の実施</li> <li>● 病害虫防除技術の研究・実証等の推進</li> <li>● 野生鳥獣による被害防止対策の推進や、地域における被害防止の取組みに対する助成</li> </ul> </li> </ul> <p>(園芸生産の振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 園芸振興の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山県園芸振興推進協議会による園芸振興方針の策定及び方針に基づいた取組みへの支援</li> <li>● 園芸作物の生産・出荷の安定を図るため、園芸振興団体の栽培技術向上研修会や県産園芸作物のPR活動等への支援</li> </ul> </li> <li>■ 園芸産地のブランド力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県産園芸作物の県外での評価、ブランド力向上による、生産・販売の拡大</li> <li>● 産地マネージャーの育成による産地基盤の強化</li> <li>● 県外の量販店、加工業者との契約栽培など、新たな市場流通システムの構築</li> </ul> </li> <li>■ 新たな園芸産地の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新鮮さや完熟等の地元産メリットを活かした地産地消の推進</li> <li>● 富山らしさを発揮できる新たな品目の開発</li> <li>● 郷土料理や学校給食等への活用、直売所・インショップ販売の促進</li> </ul> </li> <li>■ 消費者ニーズに即した県産園芸作物の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 量販店との契約取引など新たな流通システムの開拓に対する助成</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消費者への「食の安全」に関する啓発活動</li> <li>● 県産野菜等の残留農薬の自主検査の促進</li> </ul> <p>■ 野菜価格の安定化による経営安定、消費者への安定供給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野菜価格の著しい下落時の補給金の交付による野菜生産者の経営安定</li> <li>● 卸売市場への継続・安定供給による消費者価格の安定</li> </ul> <p>■ チューリップなど花き球根の生産振興の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 球根の品質・信頼を確保するための球根検査員による検査の実施</li> <li>● 新品種の優良品種認定による生産普及の促進</li> <li>● 切り花、花壇栽培など用途に応じた球根の生産販売体制の構築</li> <li>● 伝染性土壌病害の回避のための新規栽培ほ場の安定確保</li> <li>● 新規担い手を確保・育成するため、球根栽培の導入経費に対し助成</li> </ul> <p>■ 県産チューリップのブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オリジナル品種の開発による、付加価値の高い球根生産の支援</li> <li>● オリジナル品種を中心とした、首都圏でのPR・販売の強化</li> </ul> <p>(畜産の振興)</p> <p>■ 畜産物の安定供給と差別化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 肉用子牛、肉豚等の価格安定対策の推進</li> <li>● 飼料生産を担う作業受託組織の育成支援など、良質な飼料生産の推進</li> <li>● 家畜伝染病予防法に基づく検査の実施など、安全な畜産物生産の推進</li> <li>● 省力管理等低コスト生産技術の普及</li> <li>● 「とやま牛」、「とやまポーク」等の県産銘柄畜産物の普及</li> </ul> <p>■ 優良種畜の供給等による家畜の改良</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 乳用牛群の能力検定による経営改善、優良後継牛の作出の推進</li> <li>● 県外から優秀な雄系種豚を導入増殖し、畜産農家へ供給する体制を整備</li> <li>● 家畜体内受精卵移植講習会の開催</li> </ul> <p>■ 畜産企業誘致に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃村等により遊休化した中山間地に優良畜産企業を受け入れるための環境整備</li> </ul> <p>(食のブランド化の推進)</p> <p>■ 「食のとやまブランド」推進戦略の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「越中とやま食の王国」ホームページの開設</li> <li>● 「とやま食の匠」制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特産品の生産、郷土料理の伝承、県産食材を使用した加工食品や料理の創作等を行う者の認定</li> <li>・ 「とやま食の匠」の活動支援</li> </ul> </li> <li>● 東京アンテナショップや首都圏の量販店及び百貨店との連携によるPR・販売促進活動の推進</li> <li>● 「とやま食の街道」づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「富山ならではの」の食材や食文化の魅力を体験できる施設等の選定と周遊ルートの設定</li> <li>・ 「食の語り部」等による魅力充実に向けた取組を支援</li> </ul> </li> <li>● 報道機関関係者や著名人等を招聘し、旬の食と観光をアピール</li> <li>● 「越中とやま食の王国フェスタ」（仮称）の開催</li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「とやま名物」商品の開発支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新たな「とやま名物」アイデアコンテストに基づく商品開発に対する支援</li> </ul> </li>   <li>■ 富山米のブランド力強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>• メディア広告や販売促進キャンペーン、とやま米ファンクラブの運営など富山米のブランド力強化に向けた取組への支援</li> </ul> </li>   <li>■ 食品産業や流通団体との連携・交流による農産物の需要拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域農産物の加工利用を促進し、多様で豊かな農産加工食品の生産・販売を促進</li> </ul> </li>   <li>(農林水産物の海外市場開拓に向けた取組みの推進)</li> <li>■ 農林水産物の輸出促進に向けた取組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中国など各国の輸入制度、流通・販売実態の情報収集・提供、セミナーの開催</li> <li>• 海外・国内バイヤーの招聘、国の海外常設店舗への参加等への支援</li> </ul> </li>   <li>(地産地消の推進)</li> <li>■ 地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校給食における地場産品の導入推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 地場産良質米や県産魚介類の提供、牛乳の供給推進〕</li> <li>〔・ 特別給食の充実・強化、魚給食交流授業の実施〕</li> </ul> </li> <li>• 農産物直売所マップ等の作成・PR</li> <li>• インショップによる販売拡大の推進</li> <li>• 地場農産物の生産技術と新商品開発の支援</li> <li>• 県産農産物、農産加工品の表示マーク（Eマーク）の導入推進</li> <li>• 地産地消や食育の普及・PRのためのイベント開催、情報発信</li> <li>• 県産魚介類を使用したおさかな料理教室の開催</li> </ul> </li>   <li>■ 農村女性の起業支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 普及指導員による農村女性の地場産物を活用した起業活動への支援</li> <li>• 農村女性起業家による新商品開発や販路開拓等に対する助成</li> <li>• 農村女性起業家の事業拡大に係る施設機械の導入に対する助成</li> </ul> </li> </ul>
(3) 優良な農業生産基盤の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 優良農地の確保と有効利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 農業以外への農地の利用調整など、優良農地の確保の促進</li> <li>• 認定農業者や集落営農組織等への利用集積による、農地の有効利用（再掲）</li> </ul> </li>   <li>■ 担い手を支援育成する農地の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水田の大区画化を基幹とした総合的な生産基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 未整備田の大区画化整備〕</li> <li>〔・ 用排兼用水路の用排分離化と老朽化した用排水路の再整備〕</li> <li>〔・ 大型農業機械の使用に対応した農道の整備（舗装、拡幅等）〕</li> </ul> </li> <li>• 水田の汎用化整備など、地域特性に応じた生産基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 水田の畑利用（麦・大豆）が可能となる暗渠排水の整備〕</li> <li>〔・ チューリップ等の作付けを可能とする耕土の補給〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>※水田汎用化面積(農地の排水不良や耕土厚不足等への対策を施した面積) 【H17：29,630ha→H23：31,400ha】</li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<p>■ <b>農業水利施設の計画的な更新整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基幹的な農業水利施設の劣化状況を把握するための機能診断に基づいて、施設の長寿命化やライフサイクルコストの低減を図る「機能保全計画」を策定（H18～H22）</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">※機能保全計画の策定地区数(長寿命化対策を含めた整備実施計画の策定地区数) 【H17：0地区→H23：13地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業水利施設の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「機能保全計画」に基づく、施設の補修・補強及び更新の計画的な実施</li> </ul> </li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">※機能保全計画に基づいた水路整備延長 【H17：0km→H23：65km】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水利用の効率化・省力化を図る水管理システムの整備</li> <li>○ 防火・消流雪等の地域用水機能を向上させる施設の整備</li> </ul> <p>■ <b>小規模な農業用施設の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 維持管理の省力化や営農労力の軽減を目指した小規模施設の整備</li> <li>● 市町村や土地改良区等が実施する施設整備への助成</li> </ul> <p>■ <b>農畜産物流通の効率化・近代化に対応する農道整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基幹的農道の施設機能を保全するための整備・補修（橋梁、トンネルの耐震化、長寿命化等）</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">※基幹的農道で保全対策を実施した施設数（橋梁・トンネル等、重要構造物の機能保全対策実施施設数） 【H17：6箇所→H23：11箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大型営農機械の使用や、生産物の多様化に対応した農道整備（舗装、拡幅等）</li> </ul> <p>■ <b>広域的な排水機能の改善による浸水被害の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 庄川左岸地区国営総合農地防災事業等の促進 (参考) 国営・県営総合農地防災事業費 約500億円</li> </ul> <p>■ <b>農地を守る防災対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 混住化等の進行で排水量が増大したことによる溢水被害を防止する排水路等の施設の整備</li> <li>● 老朽化したため池や通水能力不足の堰など農業被害が予想される施設の整備推進</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">※老朽ため池の整備箇所数(老朽ため池の決壊被害等の防止) 【H17：214箇所→H23：223箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地すべり被害の復旧整備、未然防止対策の推進</li> <li>● カドミウム汚染農用地の優良農地への復元整備の推進</li> </ul> <p>■ <b>土地改良施設の適切な維持管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土地改良施設の維持管理の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農業用排水路の安定利用や安全対策を図るなどの適切な維持管理</li> <li>○ 土地改良施設が有する防災、消流雪等の多面的機能に配慮した維持管理</li> </ul> </li> <li>● 地域住民、土地改良区、行政が連携した土地改良施設の管理体制の整備</li> </ul> <p>■ <b>農地・水・環境保全向上対策の推進（再掲）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農地・用排水路等の保全管理に関する地域ぐるみの共同活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 江ざらい、草刈り等の集落共同活動への支援</li> <li>○ 水路、ため池などの長寿命化を図る初期補修等への支援</li> <li>○ 生態系や景観の保全など農村環境向上活動への支援</li> <li>○ 幼児・高齢者の水難事故防止のための安全柵設置等への支援</li> <li>○ クマ対策としての秋口における水路沿いの草刈りへの支援</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 畜産業の持続的な発展を促す生産基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 意欲ある担い手に対する飼料基盤や、畜舎等生産基盤の整備に対する支援</li> <li>• 畜産経営の移転に伴う畜舎整備や家畜排泄物の処理・利用施設等の整備に対する支援</li> </ul> </li> </ul>
<p>(4) 新たな技術の開発と普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 先端技術を活用した実用性の高い新技術の開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイオテクノロジー等の先端技術を活用した付加価値の高い富山ブランドの素材、手段となる品種や技術の開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>※普及に移した開発技術数 【H16：23件→H23：30件】</li> <li>※新品種の開発数（水稻、チューリップ）（年平均）【H13～17：2.2→H23：2.5】</li> </ul> </li> <li>• 高品質・安全な農産物の生産技術や担い手の経営安定化に資する農業生産の低コスト・省力化技術の開発</li> <li>• 環境に配慮した農業技術の開発</li> <li>• 農業生産の基盤となる種苗・種畜生産供給等の推進</li> </ul> </li> <li>■ 産学官の連携強化等による技術開発の効率化と高度化 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 共同研究プロジェクトの推進や試験研究の体制強化、研究開発機能の充実</li> </ul> </li> <li>■ 地場農林水産物の高付加価値化や資源循環、安全性の確保に配慮した食品産業の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地場農林水産物の機能性成分等の特性解明とこれらを活用した食品の開発</li> <li>• 食品加工残さや水産物などの未利用資源の有効利用技術の開発</li> <li>• 食品の安全性確保のための製造工程・品質管理技術等の開発</li> </ul> </li> <li>■ 薬用植物の栽培加工技術の普及指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 薬用植物の優良品種の選抜や栽培加工法の確立、指導と県民への知識普及</li> </ul> </li> <li>■ 農業者への生産技術の普及指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 普及指導センターによる作物、園芸、畜産、農産加工技術等の普及指導</li> <li>• モデル集団の育成、実証ほの設置、研修の開催等による安定生産技術の普及</li> <li>• 農業改良資金の貸付けによる新しい技術の導入促進</li> <li>• IT技術を活用した担い手に対する情報提供の高度化</li> </ul> </li> </ul>

# 11 森林・林業の振興

## 政策目標 (政策の目指すべき成果)

地域林業の担い手により、健全な森づくりが行われているとともに、県産材等の林産物や木材製品が安定的に供給されていること。

## 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
<p>(1) 健全な人工林の育成と生産基盤の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「富山県森づくりプラン」を基本とした森林整備に関する計画づくりと計画の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「富山県森林・林業新世紀ビジョン」の改訂 (H19)</li> <li>● 地域森林計画の編成と市町村森林整備計画の策定支援</li> <li>● 森林所有者等による計画的な森林施業を促進するための調査、歩道整備等への支援</li> </ul> </li>   <li>■ 資源の循環利用を重視した人工林整備の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育、間伐などの計画的な実施による健全な人工林の育成 (私有林、公社営林、県営林)</li> <li>● 46年生以上の高齢級の人工林を対象とした「抜き伐り」施業の実施 (私有林、公社営林)</li> <li>● 安定的な県産材生産を促進するための県産材搬出への助成</li> <li>● 森林施業の集約化を図るための森林組合への長期施業委託の促進</li> <li>● 人工林整備に不可欠な森林境界の明確化のための調査・測量に対する支援</li> <li>● 優良なスギ種苗の生産                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 優良種苗生産の基となる選抜された林木の育成〕</li> <li>〔・ 採種園、採穂園の管理〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 低コスト化を目指した生産基盤の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県営林道の新設、改良の推進、団体営林道の新設、改良、舗装への助成                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※林道延長 【H17：1,655km→H23：1,720km】</li> </ul> </li> <li>● 森林組合等が実施する作業道整備に対する支援</li> <li>● 林道整備と併せて行う山村の生活環境整備等への支援</li> <li>● (独) 緑資源機構が施工する緑資源幹線林道の整備促進</li> </ul> </li>   <li>■ 風雪被害林の混交林への誘導整備 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風雪被害林や過密人工林をスギと広葉樹が混交する森林への誘導整備                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 風雪被害林の倒木等の整理と混交林の誘導整備〕</li> <li>〔・ 過密人工林の整理伐と混交林の誘導整備〕</li> <li>〔・ 混交林整備に必要な森林境界の確認、協定締結等への支援〕</li> </ul> </li> <li>● 有峰森林の人工林における混交林への誘導整備</li> </ul> </li>   <li>■ 人工林等の保全対策の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 松くい虫、スギカミキリなどの森林病虫害等の防除</li> <li>● 森林災害に備えるための国営保険の契約、損害調査</li> <li>● 治山事業などによる森林の公益的機能の発揮 (再掲)</li> </ul> </li>   <li>■ 健全な人工林の育成管理を図るための技術開発の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 健全で機能の高い森林の育成に係る試験研究                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 混交林への誘導整備の効果検証と検証システムの構築〕</li> <li>〔・ 風雪害に強い森林管理技術の確立〕</li> <li>〔・ 長伐期施業や複層林施業技術の確立 等〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
(2) 担い手の確保・育成と経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 林業担い手センターによる担い手の確保と育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 林業担い手確保のための各種情報の収集と提供</li> <li>● U・Iターン者等林業就業希望者への体験林業の実施</li> <li>● 新規就業者が研修や就業準備に必要な資金の無利子融資（林業就業促進資金）</li> <li>● 伐採を行うための貸付用高性能林業機械の管理運営</li> </ul> </li>   <li>■ 林業カレッジによる林業技術者の養成 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な機能を発揮する森づくりと木材生産等を担う森林管理技術者養成のための研修の実施</li> <li>● 林業作業に必要な各種資格取得等のための研修の実施</li> <li>● 研修に必要な施設の管理と運営</li> </ul> </li>   <li>■ 安全で安心して働ける職場環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 労働災害防止のためのパトロール、労働災害救助訓練等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・安全指導員等の養成、安全巡回指導の実施〕</li> <li>〔・労働災害救助訓練の実施、安全セミナーの開催〕</li> </ul> </li> <li>● 林業就業者の就労環境改善等を図るための退職金掛金制度への支援</li> </ul> </li>   <li>■ 森林組合の経営基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 森林組合の広域合併を通じた組織基盤強化への指導・支援</li> <li>● 森林組合の経営強化を進めるための検査、指導及び研修の実施</li> <li>● 森林施業の集約化を図るための森林組合への長期施業委託の促進（再掲）</li> </ul> </li>   <li>■ 経営改善のための施設整備の促進及び融資制度による支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営改善や就業者の確保・育成等に必要な施設整備に対する支援</li> <li>● 林業経営に必要な資金融資 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・林業経営に必要な資金の低利融資（林業振興資金）〕</li> <li>〔・林業・木材産業の経営改善に必要な資金の無利子融資（林業改善資金）〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ (社)富山県農林水産公社（森林部）の運営等に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>● (社)富山県農林水産公社（森林部）の経営安定のための資金貸付等</li> <li>● 分収林契約変更に係る所有者確認調査や契約締結、森林現況調査への支援</li> <li>● 公社営林経営改善検討委員会による経営改善の検討及び実施</li> </ul> </li>   <li>■ 県営林の適正な管理・経営 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県営林の保育・間伐と計画的な伐採の実施</li> <li>● 契約更新に係る所有者確認調査や契約の締結</li> </ul> </li>   <li>■ 林業技術や人材を育成する普及指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 森林組合、森林所有者等への技術指導や地域リーダーの育成</li> <li>● 研究成果等の普及や情報提供による普及活動の推進</li> </ul> </li>   <li>■ 林業についての理解の醸成と普及啓発の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 林業普及教育施設「林業普及センター」による森林・林業の役割などの理解の醸成</li> </ul> </li> </ul>
(3) 木材等の需要拡大と安定供給体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県産材の需要拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県産材を使用する住宅建設の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・県産材を一定割合以上使用する住宅建設に対する無利子融資〕</li> <li>〔・「とやま県産材アドバイザー」による県産材住宅相談会の開催〕</li> <li>〔・施工事例のホームページへの掲載や事例集の作成により県民へのPRの実施〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設等の木造化・木質化の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 県が実施する公共施設の木造化・木質化の推進</li> <li>・ 市町村が実施する公共施設の木造化への支援</li> <li>・ 県産材を使用した公共施設等の内装の木質化への支援〕</li> </ul> </li> <li>● 県産材製品の導入促進や木の良さの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 県産材を使った「積木」、「ベンチ」などの製品の配布・設置（H19～21）</li> <li>・ 県産材の利用をPRするシンボルマークの制定（H19）</li> <li>・ 県産材を天板に利用した小学校学童用机の導入（H19モデル校、H20～希望校）</li> <li>・ 子供たちのアイデアを活かした木製遊具の製作・設置</li> <li>・ 公共工事への県産材製品の導入促進</li> <li>・ 「とやま県産材アドバイザー」による県産材利用の普及活動の促進</li> <li>・ 各種イベント等を利用した県産材PRの推進</li> <li>・ 地球環境に悪影響を及ぼす違法、無秩序な伐採を防ぐため、合法木材（森林関係法令上、合法的に伐採された木材・木材製品）の積極的な使用についての普及啓発を推進〕</li> </ul> </li> </ul> <p>■ 計画的な伐採促進による県産材の安定供給と低コスト化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 間伐の推進や「抜き伐り」施業の導入を通じた県産材の安定供給（再掲）</li> <li>● 県営林の計画的な伐採の実施（再掲）</li> <li>● 林道・作業道の整備による伐採搬出コストの低減（再掲）</li> <li>● 施業の団地化等による安定的な出材と流通コストの低減に向けた取組みへの支援</li> <li>● 「神通川・庄川流域森林・林業・木材産業活性化センター」の活動への支援</li> </ul> <p>■ 木材・木材製品の安定供給体制の整備と木材産業の体質強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 木材乾燥施設など木材加工施設整備に必要な資金融資 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 木材産業体質強化特別資金への県木材組合連合会の出えんに対する助成〕</li> <li>〔・ 林業・木材産業の経営改善に必要な資金の無利子融資（林業改善資金）〕</li> </ul> </li> <li>● 乾燥技術や労働環境改善のための研修会等の開催支援</li> </ul> <p>■ 新たな木材製品の開発と安全快適な木造住宅の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県産材の利用拡大のための新しい木材製品の開発に係る試験研究の推進（住宅用構造部材、内装材、外装材などの開発）</li> <li>● 木造住宅に適用できる新しい耐震技術の開発</li> <li>● シックハウスを軽減する材料・工法の開発</li> <li>● 地域バイオマス資源の循環利用技術の開発</li> <li>● 試験研究成果の普及、木材に関する技術指導、技術相談、情報の発信</li> </ul> <p>■ 特用林産物の生産振興のための技術支援等の実施と需要拡大のためのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特用林産物生産施設整備への支援と生産指導</li> <li>● 生産振興を図るための試験研究の推進 （本県に適したきのこ・山菜類の系統の探索・選抜等）</li> <li>● 各種イベント等を利用した特用林産物PR活動の推進</li> </ul>

## 12 水産業の振興

### 政策目標 (政策の目指すべき成果)

富山湾及びその周辺海域の多様な水産資源が持続的に利用され、豊かな食生活を支える安全で良質な水産物が供給されていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
<p>(1) 資源管理型 漁業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水産資源の適切な管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>• TAC(漁獲可能量)制度に基づく国、県等の連携による水産資源の保護と漁獲量の管理 (対象魚種：マアジ、マイワシ、サバ類、スルメイカ、ズワイガニ 等)</li> <li>• 日本海の広い範囲を対象とした国の資源回復計画の策定と実践への参加 (対象魚種：資源状況が悪化しているスケトウダラ 等)</li> <li>• 漁業者自らが策定した資源管理計画に基づき、小型魚の保護や総漁獲量の設定などによる資源保護・管理を促進 (対象魚種：ヒラメ、ベニズワイ 等)</li> <li>• 漁業者による資源管理に必要な調査と資源管理方策の作成への支援 (対象魚種：シロエビ)</li> </ul> </li>   <li>■ 栽培漁業の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 放流効果に関する調査の実施                   <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域ブロック県との連携による放流効果調査 ヒラメ (青森県～富山県：5県)、マダラ (新潟県～石川県：3県)</li> <li>・ 放流効果を明らかにするためのモニタリング調査 ヒラメ、アワビの漁獲量、漁獲サイズ等の市場での調査等</li> </ul> </div> </li>   <li>※栽培漁業対象魚種 (ヒラメ) の放流尾数 【H17：250千尾→H23：250千尾】</li> <li>• 健苗 (健康な放流用種苗) の安定生産の推進                   <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健苗の安定生産のための技術開発</li> <li>・ 栽培漁業対象魚種の検討 (現況 (18年度) :ヒラメ、アワビ、クロダイ、クルマエビ)</li> <li>・ 健苗を大量に安定生産するための栽培漁業センター等の整備</li> </ul> </div> </li> </ul> </li>   <li>■ 内水面資源の増養殖の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 回帰率の向上を目指した健康な大型種苗の放流の実施 (対象魚種：サクラマス、サケ等)</li> <li>• 自然生産力増大のための関係機関と連携した河川環境の改善 (魚道や淵の造成等)</li> </ul> </li>   <li>■ 漁場環境保全の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 漁業者等と連携した沿岸漁場の水質監視調査の実施</li> <li>• 富山湾の漁場環境調査の定期的・継続的な実施</li> <li>• 赤潮等の発生状況調査の実施</li> <li>• 国と連携した大型クラゲ対策の実施</li> <li>• 流域の関係団体等との連携による流木対策の実施</li> <li>• 流域関係者と連携した植林など森づくり活動や県民総ぐるみでの海岸清掃活動の実施と漁場環境保全意識の高揚</li> </ul> </li>   <li>■ 水産試験場等の試験研究機能の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>• ブリやスルメイカ等漁業に重要な魚種やホタルイカ、シロエビ等本県固有の水産資源を持続的に利用していくための調査研究の推進</li> <li>• ヒラメやサクラマス等沿岸及び内水面漁業に重要な魚種の資源を増大するための調査研究の推進</li> <li>• 漁業生産の場である本県沿岸漁場の環境保全のための調査や深層水を活用した藻場回復のための調査研究の推進</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
<p>(2) 安全で良質な水産物の安定供給とブランド化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産地市場の統合と水産物の鮮度保持・衛生管理の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水産物の安定供給のための水産物産地市場の統合再編、機能の分担・連携の推進</li> <li>• 定置網等で漁獲される水産物の鮮度保持、衛生管理のために必要な荷さばき施設等の整備の支援</li> </ul> </li>   <li>■ 水産加工食品の開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 機能性食品や地域特産品の製品化等、消費者ニーズに対応した付加価値の高い商品開発の促進</li> <li>• 未利用・低利用資源を原料とする製品開発や、水産廃棄物の適正処理や有効利用のための研究開発の推進</li> </ul> </li>   <li>■ 魚食普及・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県産魚介類を使用したおさかな料理教室の開催</li> <li>• 学校給食における県産魚介類の使用促進</li> <li>• 直売施設での調理方法の提示など消費者ニーズに応える情報を付加した販売の促進</li> </ul> </li>   <li>■ 富山のさかなのブランド化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県産水産物の品質管理の徹底等、関係者一体の差別化に向けた取組みの促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 鮮度管理、衛生管理等の品質管理による信頼される商品づくりのための研修会等の開催〕</li> <li>〔・ 生産者表示や地域団体商標等の登録による差別化の取組みの促進〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 観光と連携したブリ、ホタルイカ及びシロエビ等の「富山のさかな」の魅力の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 東京アンテナショップの活用や、特産品フェア、イベントへの参加等によるPR活動の実施</li> <li>• 「とやま食の街道」づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 「富山ならではの」の食材や食文化を体験できる施設等の選定と周遊ルートの設定〕</li> <li>〔・ 「食の語り部」等による魅力充実に向けた取組みを支援〕</li> </ul> </li> <li>• 富山らしい料理の継承・創作・ブランド化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 越中料理コンテストの開催〕</li> <li>〔・ 越中料理の普及・PRに向けたユニークかつ効果的なイベントの開催に対する助成〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p>(3) 担い手の育成確保と経営基盤の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 漁業経営の効率化・安定化、水産加工業の経営体質強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 制度融資による漁業経営等に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 沿岸漁業改善資金（設備資金）〕</li> <li>〔・ 漁業近代化資金（設備資金）：県信用漁業協同組合連合会〕</li> <li>〔・ 漁業振興資金（運転資金）：県信用漁業協同組合連合会 等〕</li> </ul> </li> <li>• 資金融通円滑化のため県漁業信用基金協会の財務基盤強化への支援</li> <li>• 県漁業共済組合の加入促進活動への支援</li> </ul> </li>   <li>■ 漁業者への経営指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>• (社) 富山県農林水産公社の活動助成 (漁業経営体の漁業技術及び経営管理ノウハウの指導、経営改善のための指導)</li> </ul> </li>   <li>■ 担い手の育成確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>• とやま漁業担い手センターの活動助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 事業主体：(社) 富山県農林水産公社〕</li> <li>〔・ 事業内容：就業希望者等の相談窓口設置、求人・求職情報の収集・提供、中核漁業経営体等の育成と経営指導等〕</li> </ul> </li> <li>• 漁業担い手体験講座の実施に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 事業主体：(社) 富山県農林水産公社〕</li> <li>〔・ 講座内容：定置網漁船での漁労作業の従事体験〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規就業者の資金調達への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 新規就業者融資円滑化事業の実施：県漁業信用基金協会〕</li> <li>〔・ 新規就業者が資金借入の際、無担保・無保証人による保証を実施〕</li> </ul> </li> <li>■ 漁業協同組合の経営基盤の強化・育成指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 沿海漁協(対象漁協9漁協)を県内1漁協に合併する取組みに対する支援</li> <li>● 合併対象漁協への経営指導（合併前に必要となる漁協の経営改善、合併の手続き等）</li> <li>● 漁協経営の適正化のための漁協監事に対する研修会の開催</li> </ul> </li> </ul>
(4) 漁港の機能 充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 防波堤、臨港道路等の漁港施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 漁港の安全性を高めるための防波堤、護岸などの外郭施設の整備 <p style="margin-left: 20px;">※防波堤等外郭施設の整備延長 【H17：25.8km→H23：26.5km】</p> </li> <li>● 臨港道路、環境緑地など漁港の利便性向上を図る施設の整備</li> </ul> </li> <li>■ 競争力の高い産地づくりを支援する漁港施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 漁港の衛生管理機能の向上を図る港内排水処理施設等の整備</li> <li>● 就業環境の改善を図る施設等の整備</li> </ul> </li> </ul>

## 13 広域観光・国際観光の振興

### 政策目標 (政策の目指すべき成果)

豊かな自然、歴史、文化などの魅力ある観光資源を訪ねて、一年を通して国内外から多くの観光客が来県していること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 観光資源の活用・発掘	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観光資源の発掘・活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各地における自然景観、伝統文化等の観光資源の発掘、観光活用の推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然景観：立山黒部アルペンルート、黒部峡谷等</li> <li>・ 伝統文化：おわら風の盆、こきりこ、麦屋、高岡御車山祭、たてもん等</li> <li>・ 歴史・文化：世界遺産五箇山合掌造り集落、国宝瑞龍寺等</li> <li>・ 食：ブリ、シロエビ、ホタルイカ、カニ、コシヒカリ、氷見牛、名水ポーク、りんご等の食材、食材を活用した越中料理等</li> <li>・ 温泉：宇奈月、氷見、庄川等</li> <li>・ 産業：食品産業（ますの寿司・かまぼこ等）、ファスニング産業、ロボット製造、伝統産業（銅器・漆器・木彫刻・和紙等）等</li> <li>・ その他：名水、深層水、優れた景観スポット</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ グリーン・ツーリズムの推進（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• グリーン・ツーリズム推進協議会の開催                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成機関：県、市町村、NPO等</li> <li>・ 取組内容：地域資源の発掘、県外への発信方策の検討</li> </ul> </li> <li>• 情報発信のためのイベントの開催</li> <li>• 「とやま帰農塾」の全県的展開                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 滞在型の都市農村交流のモデルとして、県内複数箇所において実施</li> <li>・ 事務局の設置</li> </ul> </li> <li>• 都市農山漁村交流に取り組むNPO等の活動の支援</li> <li>• 農山漁村における大学生等の若者によるボランティア活動の支援</li> </ul> </li> <li>■ 富山らしい料理の継承・創作・ブランド化の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 越中料理コンテストの開催</li> <li>• 越中料理の普及・PRに向けたユニークかつ効果的なイベントの開催に対する助成</li> </ul> </li> <li>■ 「とやま食の街道」づくり（再掲）               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「富山ならでは」の食材や食文化の魅力を体験できる施設等の選定と周遊ルートの設定</li> <li>• 「食の語り部」等による魅力充実に向けた取組みを支援</li> </ul> </li> <li>■ 旅行ニーズに応じた観光資源のネットワーク化による滞在型観光の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• グリーン・ツーリズム等の体験型・時間消費型の観光モデルルート開発の推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>（観光モデルルートのテーマ）                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者、修学旅行生などターゲットに応じたルート</li> <li>・ グリーン・ツーリズム、健康・癒し、産業観光、伝統文化、まちなか観光などテーマ別のルート</li> <li>・ 「富山ならでは」の魅力を満載した、自然・グルメ・温泉などを組み合わせた複合的なルート 等</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>• 地域における観光モデルルートの開発、PR事業に対する支援（市町村、観光連盟地区会、商工会議所等）</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行エージェントとの連携による旅行商品の開発、PR・販売の促進  <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・首都圏等の大手旅行エージェントの招聘、富山の観光資源の紹介・理解促進〕</li> <li>〔・旅行エージェントによる旅行商品PRに対する助成〕</li> </ul> </li> <li>■ 冬場の観光資源のネットワーク化による通年型観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冬場の観光資源や、伝統文化・食・産業観光の活用による通年型の観光モデルルート開発の推進</li> <li>● 旅行エージェントとの連携による旅行商品の開発、PR・販売の促進（再掲）</li> <li>● 冬の観光キャンペーンの推進</li> </ul> </li> <li>■ 地域の魅力を活かした全国イベントの誘致・開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国規模のコンベンション、イベント等の誘致推進</li> <li>● 学会等、県内におけるコンベンションの開催と連携した観光の推進</li> </ul> </li> <li>■ 県外からの修学旅行、ゼミ・サークルの合宿等誘致 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市町村と連携した誘致の促進</li> <li>● 大学生協等への積極的なPR</li> </ul> </li> <li>■ 富山空港国内線の活用による誘客の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行エージェントとの連携による旅行商品の開発、PR・販売の促進  <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・観光説明会の開催〕</li> <li>〔・旅行エージェントによる旅行商品PRに対する助成〕</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 特産品のブランド化・開発支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京アンテナショップ「いきいき富山館」を活用した特産品のPR・販路拡大・ブランド化の推進  <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・催事コーナー(物産館)：地域、季節等の企画による特産品の実演・試食販売〕</li> <li>〔・展示コーナー(情報館)：伝統工芸品・富山プロダクツ等の展示〕</li> </ul> </li> <li>● 「富山ならではの」の観光土産品も含めた特産品の開発支援及びPR</li> </ul> </li> <li>■ 観光・物産の一体的なPR（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山県の物産と観光展の開催（東京、名古屋等）</li> </ul> </li> <li>■ 観光情報の効果的な発信・提供（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光パンフレット・ポスターなど、PR資料の整備充実</li> <li>● ホームページの内容の充実</li> <li>● 空港・駅における観光案内所、観光案内板の整備など、観光情報の提供充実</li> </ul> </li> </ul>
(2) 広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 横軸の連携による広域観光ルートの開発・PR（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 北陸新幹線の開業を視野に入れた、北陸3県、広域観光団体、民間団体・旅行エージェント等との連携による魅力的な観光ルートの開発・PR</li> </ul> </li> <li>■ 縦軸の連携による広域観光ルートの開発・PR（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中部国際空港の充実、東海北陸自動車道の全線開通などをふまえた、中部各県、広域観光団体、民間団体・旅行エージェント等との連携による魅力的な観光ルートの開発・PR</li> </ul> </li> <li>■ 観光キャンペーンの強化（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東海北陸自動車道の全線開通をふまえた観光キャンペーンの実施  <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・中京圏での観光PR活動の実施（市町村、観光関係団体、高速道路会社との連携）〕</li> <li>〔・旅行エージェントとの連携による広域旅行商品の開発、PR・販売の促進〕</li> </ul> </li> <li>● 北陸新幹線の開業を視野に入れた観光キャンペーンの実施</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
(3) 国際観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中国、韓国、台湾を中心とした誘客宣伝活動と、東南アジア、英語圏等の新たな市場開拓の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 海外からの誘客を促進するための観光モデルルート開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>(観光モデルルートのテーマ)</li> <li>・ 国・地域別の観光ニーズや旅行熟度に応じたルート</li> <li>・ 修学旅行、企業研修や富裕層をターゲットとしたルート</li> </ul> </li> <li>• 国際観光博覧会への出展 (中国(大連、上海、香港等)、韓国、台湾等での出展)</li> <li>• 海外メディア等を活用したPR広告 (新聞、テレビ、雑誌、インターネット、地下鉄駅、バス停等)</li> <li>• 県大連事務所を活用したPR</li> <li>• 外国語による観光パンフレット・ポスターなど、PR資料の整備充実</li> </ul> </li> <li>■ 海外の旅行業者向けの商談会・招聘事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光説明会、商談会の開催</li> <li>• 旅行エージェント等の招聘 (富山の観光資源の紹介・理解促進)</li> <li>• 海外向け旅行商品の開発、PR・販売に対する支援</li> <li>• 修学旅行、企業研修旅行等の事前視察に対する助成</li> </ul> </li> <li>■ 近隣県との連携による広域的な旅行商品の開発・PR <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「ビジット・ジャパン・キャンペーン」等を活用した近隣県との連携による広域的な観光PRの実施</li> <li>• 富山空港に加えて中部・成田・関西国際空港の定期便を活用した広域観光ルートの開発・PR</li> <li>• 北陸3県が連携した国際観光推進団体による誘客宣伝事業の実施</li> </ul> </li> <li>■ 海外における観光PRイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光PR、伝統芸能の紹介、物産展示</li> <li>• 現地旅行エージェントに対する観光説明会、商談会の開催</li> </ul> </li> </ul>
(4) 産業観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産業観光資源の発掘、ブラッシュアップの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 産業観光に取り組む企業の発掘</li> <li>• 産業観光のためのハード・ソフト整備に対する企業への助成</li> </ul> </li> <li>■ 産業観光を活かした旅行商品の開発・PR(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 産業観光を活かした観光モデルルート開発の推進</li> <li>• 旅行エージェントとの連携による旅行商品の開発、PR・販売の促進</li> </ul> </li> <li>■ 産業観光資源の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝統産業や産業文化財の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 銅器・漆器・木彫刻・和紙等の伝統的産業における生産現場などの活用</li> <li>・ 「北前船回船問屋 森家」、「黒部峡谷鉄道」、「黒部ダム」、「中島閘門」など、北前船、電源開発、富岩運河開発の歴史を伝える富山ならではの産業文化財の活用</li> </ul> </li> <li>• 特徴ある産業観光資源の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ポートルム」、「アイトラム」等の路面電車など、特徴ある公共交通や施設等の活用</li> <li>・ 「富山のくすり」や、ますの寿司・かまぼこ等の食品産業、ファスニング産業や癒し系ロボット製造など、特色ある産業観光資源の活用</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
<p>(5) 観光交流基盤の整備とおもてなしの心の醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外国人観光客の受入態勢の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 宿泊施設における外国人観光客受入態勢整備に対する助成</li> <li>• 外国語観光案内ボランティアの育成</li> </ul> </li>   <li>■宿泊施設における新たな取り組みへの支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光客にやさしいホテル・旅館等の整備に対する助成</li> <li>• ホテル・旅館等の観光情報発信の取り組みに対する助成</li> <li>• ホテル・旅館の施設整備等に対する融資</li> </ul> </li>   <li>■観光案内板の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国内外の観光客に対応した多言語表記による観光案内板の整備促進</li> <li>• 空港・駅等の交通結節点における観光案内板の整備促進</li> <li>• 道路上の優れた景観などを紹介する案内板の整備</li> </ul> <p style="text-align: center;">※観光案内板設置数（県設置及び県補助事業による市町村設置数） 【H17：400基→H23：520基】</p> </li>   <li>■魅力あるまちづくり、交通アクセスの整備など観光基盤整備の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 歴史・文化・自然・産業など地域の特色を活かしたまちづくり</li> <li>• 優れた景観の保全・創造</li> <li>• 魅力ある中心市街地の形成・活性化</li> <li>• 駅や空港からの利便性の高い交通機関の整備促進</li> </ul> </li>   <li>■観光人材の育成と「おもてなしの心」の醸成 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光アカデミーの開催 (市町村、民間事業者等の観光関係者に対する研修)</li> <li>• 観光PRボランティアの育成 (市町村、観光協会による観光PRボランティアの組織化、育成に対する助成)</li> <li>• 観光団体・観光事業者団体等が実施する「おもてなし研修」への助成</li> <li>• 高等教育機関、民間教育機関を活用した観光人材の育成</li> </ul> </li>   <li>■観光従事者に対する新たな表彰制度の創設と受賞者の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 富山の旬の料理を提供するなど、富山らしいおもてなしの工夫、観光客の受入態勢の整備に積極的に取り組んでいる旅館、ホテル、ボランティアなどを対象とした表彰制度の創設</li> <li>• 受賞者を活用し、おもてなしの工夫や意識の醸成を促進</li> </ul> </li> </ul>
<p>(6) 官民連携による観光キャンペーンの充実・強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新たなキャッチフレーズ・シンボルマークによる富山の魅力の全国発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新キャッチフレーズ・シンボルマークを活用した新観光キャンペーン開始記念イベントの実施 (新キャンペーンスタート宣言、キャンペーン隊出発式等)</li> </ul> </li>   <li>■県観光連盟による観光キャンペーンの充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 効果的な観光キャンペーンの実施 (観光客入込数(実数推計)等のデータに基づく開催地・開催時期の見直し等)</li> <li>• 重点的な観光PRの実施 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者(高齢者・修学旅行生等)別の旅行ニーズに応じた重点的なPR</li> <li>・ 個人客を対象とした誘客事業の充実</li> <li>・ 個々の観光資源のPRに加え、核となる観光資源を中心とした面的な周遊モデルルート</li> </ul> </div> </li> <li>• 大都市圏における大型観光キャンペーン、観光説明会の実施、旅行エージェントの招聘</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係団体との連携による観光キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 地域の観光関係団体との連携強化</li> <li>・ 交通事業者（航空会社、JR等）、旅行エージェント等との連携強化〕</li> </ul> </li>   <li>■ 県観光連盟や各地区の観光関係団体・事業者の相互連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光関係団体・事業者によるネットワーク・連携体制の構築</li> <li>● 「富山観光ファン倶楽部（仮称）」の設置 （定期的な観光情報の提供、観光施設等の割引・特典の付与 等）</li>   <li>※富山観光ファン倶楽部（仮称）の会員数 【H23：2,000人】</li> </ul> </li>   <li>■ 観光関係団体の育成・指導</li> </ul>

## 14 富山のブランドカアアップ

### 政策目標 (政策の目指すべき成果)

富山ならではの優れた商品、サービスが、「富山ブランド」として広く認知されるとともに、そうしたものを生み出す「富山」という地域に対する共感、信頼、好感が全国に定着していること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 富山の商品・サービスのブランド化	<p>(業界団体等との連携による特産品等のブランド化の推進)</p> <p>■ 業界団体のブランド化の取組みに対する総合的な支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ブランド化に意欲のある業界団体の選定 (酒造組合、蒲鉾水産加工協同組合等) (支援対象の業界団体)</li> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国ブランド化に向けての目標、意欲のある団体</li> <li>・ 富山の資源を活用した、県内での認知度が高い商品・サービスの提供団体</li> <li>・ 「くらしたい国、富山」のコンセプトに適合した商品・サービスの提供団体</li> </ul> </li> <li>● 意欲ある業界団体への総合的な支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一流の専門家の派遣</li> <li>・ 商品開発・改良、マーケティング、PR等の戦略・実行計画策定の支援</li> </ul> </li> </ul> <p>■ 地域資源を活用した企業の新たな取組みへの支援 (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域資源活用構想の策定</li> <li>● 地域資源を活用した県内企業の取組みの発掘、事業化の検討</li> <li>● 県内の特色ある資源を活用した中小企業の新商品・サービスの開発等に対する助成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色ある資源：産業資源 (深層水、銅器製造技術等)、農林水産物等</li> <li>・ 「とやま発 新事業チャレンジ支援基金」の創設、運用益による助成</li> </ul> </li> </ul> <p>■ 地域ブランド商標の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域団体商標及び地名入り団体商標の出願費用の助成 (対象者：農業協同組合、漁業協同組合、事業協同組合等の業界団体)</li> </ul> <p>(「富山ならではの」の食材・料理、食文化を活用した食のブランド化の推進)</p> <p>■ 食のブランド化の推進 (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「とやま食の匠」制度の創設           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特産品の生産、郷土料理の伝承、県産食材を利用した料理の創作等を行う者の認定</li> <li>・ 「とやま食の匠」の活動支援</li> </ul> </li> <li>● 東京アンテナショップや首都圏の量販店及び百貨店との連携によるPR・販売促進活動の推進</li> <li>● 「とやま食の街道」づくり           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「富山ならではの」の食材や食文化を体験できる施設等の選定、周遊ルートの設定</li> <li>・ 「食の語り部」等による魅力充実に向けた取組みの支援</li> </ul> </li> <li>● 報道機関関係者や著名人等の招聘による、旬の食と観光のアピール</li> <li>● 「越中とやま食の王国フェスタ」(仮称)の開催</li> <li>● 新たな「とやま名物」アイデアコンテストに基づく商品開発に対する支援</li> <li>● 富山米のブランド力強化に向けた取組みの支援</li> </ul> <p style="text-align: center;">※ 「とやま米ファンクラブ」会員数 【H17：784人→H23：1,000人】</p> <p>■ 富山らしい料理の継承・創作の推進 (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 越中料理コンテストの開催</li> <li>● 「越中料理」への関心を高める事業への支援</li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<p>(伝統的工芸品や高度な「ものづくり技術を活かした製品のブランド化の推進」)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「富山のくすり」のブランド化(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>●「富山くすりフェア」の開催、宣伝広告等</li> <li>●富山大学和漢医薬学総合研究所に寄附講座を設置し、和漢薬製剤の開発等を支援</li> </ul> </li> <li>■富山湾深層水のブランド化(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>●深層水フォーラムの開催、宣伝広告等</li> </ul> </li> <li>■「富山プロダクツ」などデザイン活用によるブランド化(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>●機能性・デザイン性に優れた商品を「富山プロダクツ」として認定・顕彰し、販路開拓を支援</li> <li>●優れたデザイン製品の展示会の開催(県内の大型店舗、ホテル等)</li> </ul> </li> <li>■県産チューリップのブランド化(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>●オリジナル品種の開発による、付加価値の高い球根生産の支援</li> <li>●オリジナル品種を中心とした、首都圏でのPR・販売の強化</li> </ul> </li> <li>■伝統的工芸品のブランド化(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>●海外市場の開拓 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・業界団体等による取組みの支援〕</li> <li>〔・欧州等の国際見本市出展に対する支援〕</li> </ul> </li> <li>●国内でのPR・販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・全国規模の展示会への出展支援〕</li> <li>〔・東京アンテナショップ「いきいき富山館」の活用〕</li> <li>〔・首都圏等での物産と観光展の開催〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
(2) 富山の地域イメージのブランド化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■富山のくらしの魅力発信(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>●全国雑誌を活用した富山の住みよさを掲載する記事型広告の実施(対象購読者：子育て世代～熟年世代)</li> </ul> </li> <li>■キャッチフレーズ「くらしたい国、富山」及びロゴマークの活用促進(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>●市町村、企業、団体、個人等への利用のPR</li> <li>●企業に対する活用の働きかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・「くらしたい国、富山」のイメージと合致する商品・サービスへの活用〕</li> <li>〔・宣伝広告や包装等への使用〕</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■富山の魅力再発見・再認識の気運の醸成(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>●「越中富山ふるさとチャレンジ」の推進(検定試験のマスターコースの設置、合格者の活用など)</li> <li>●富山の様々な魅力を県民に紹介する記事型広告を新聞に掲出</li> </ul> </li> </ul>
(3) 富山の魅力発信の仕掛けづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多様な媒体の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>●県PR誌「富山物語」の発行</li> <li>●ホームページ、メールマガジン等による情報発信</li> <li>●羽田空港、富山空港でのPRコーナーの設置</li> <li>●国内外メディアによる富山の魅力のPR(国内外メディア関係者の招聘、取材・報道に対する支援)</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<p>■東京アンテナショップ「いきいき富山館」の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県産品のPR及び販売の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・特産品フェアの開催〕</li> <li>〔・試食販売の実施〕</li> </ul> </li> <li>• 情報発信機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・観光情報、U・Iターン、グリーン・ツーリズム等の情報提供〕</li> <li>〔・写真展、工芸作品展等の企画展の開催〕</li> </ul> </li> </ul> <p>■富山を応援する人的ネットワークの構築・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「とやま大使」、「とやまふるさと使節」の委嘱 (県情報の提供、名刺配布 等)</li> <li style="padding-left: 2em;">※「とやまふるさと使節」委嘱者数 【H18：199人→H23：300人】</li> <li>• 「とやまファン倶楽部」の運営支援 (県情報の提供、会報誌発行、交流会開催 等)</li> <li style="padding-left: 2em;">※「とやまファン倶楽部」会員数 【H17：1,001人→H23：1,200人】</li> </ul>
(4) ブランド価値の維持・向上	<p>■とやまブランド推進本部の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 関係業界・団体等との連絡調整</li> <li>• 事業者等による定期的な評価・改善の取組みを促進</li> </ul>

## 15 北陸新幹線など鉄道・道路ネットワークの整備

### 政策目標 (政策の目指すべき成果)

北陸新幹線、東海北陸自動車道など広域的な交通・物流ネットワークが整備され、関東圏や中京圏などとの人、モノの交流が活発になっていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 北陸新幹線の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長野・金沢間の早期完成 (遅くとも平成26年度末までに完成) (参考) 県内区間の全体事業費 約6,000億円 (うち県負担金 約2,000億円) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 総延長 長野・金沢間 約238km</li> <li>• 県内駅 富山駅、新高岡駅 (仮称)、新黒部駅 (仮称)</li> <li>• 所要時間 (見込) 富山・東京間 2時間7分 (約60分短縮)</li> </ul> </li> <li>※ 北陸新幹線整備 (長野・金沢間) の事業進捗率 (予算執行状況) 【H18: 40%→H26年度完成】</li> <li>■ 大阪までの全線整備の早期実現 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 総延長 東京・大阪間 約700km (うち東京・高崎間105kmは上越新幹線と共用)</li> <li>• 主な経過地 長野市、富山市、金沢市、福井市、小浜市付近</li> <li>• 所要時間 (見込) 富山・大阪間 1時間20分 (約100分短縮)</li> </ul> </li> <li>■ 富山駅付近連続立体交差事業の推進 (再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 富山駅付近の在来線高架化の推進</li> <li>• 延長 JR線 (北陸本線、高山本線) 約1.8km 富山地方鉄道線 約1.0km</li> </ul> </li> <li>■ 並行在来線の経営計画の策定及び運営会社の設立 (再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 並行在来線運営会社の設立に向けた調査・検討 (H17～) (将来需要予測調査の実施 (H18)、収支予測調査の実施 (H19))</li> </ul> </li> </ul>
(2) 高速道路網等の整備と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東海北陸自動車道の全線開通、4車線化工事の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 東海北陸自動車道の全線開通 (平成19年度) 全区間: 一宮JCT～小矢部砺波JCT (約185km) 工事区間: 飛騨清見IC～白川郷IC間 (約26km) 平成19年度供用</li> <li>• 東海北陸自動車道 (県内区間) の4車線化工事の早期着手</li> </ul> </li> <li>■ 能越自動車道の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高岡北IC～氷見IC間 (約11km) 平成19年度供用</li> <li>• 氷見IC～七尾IC間 (約40km) (参考) 全体事業費 約900億円</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域高規格道路の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 富山高山連絡道路、富山高岡連絡道路、高岡環状道路等の整備促進 (参考) 富山高山連絡道路(猪谷楡原道路) 全体事業費 約260億円</li> </ul> </li> <li>■ 北陸と関東を結ぶ広域道路の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中部縦貫自動車道の整備促進</li> <li>• 北アルプスゴールデンルート(富山～高山～松本～糸魚川～富山)の整備促進</li> </ul> </li> <li>■ 高速道路等の活用による地域開発への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 効率的な追加ICの設置、道の駅の充実 等</li> </ul> </li> <li>■ 高速バス路線の充実の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県内でのバス停設置に対する助成等</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">※高規格道路の整備率(高速道路、地域高規格道路の計画キロ数に対する整備割合) 【H18:58.9%→H23:67.6%】</p>
(3)安全で快適な道路ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県内各地域を結ぶ体系的な道路網の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国道、県道、市町村道の整備</li> <li>• 都市計画道路の整備(再掲)</li> </ul> </li> <li>■ 高速交通体系とのアクセス道路の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新幹線駅、港湾、インターチェンジ等へのアクセス道路</li> </ul> </li> <li>■ 地域の交流・連携を促進する道路網や産業活動を支援する道路網の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 市町村間を連絡する道路</li> <li>• 主要観光地へのアクセス道路</li> <li>• 企業団地、流通団地等の産業集積地へのアクセス道路</li> <li>• 地域振興プロジェクトを支援する道路</li> <li>• 湾岸道路や山麓道路</li> <li>• 広域基幹農道(再掲)</li> <li>• 緑資源幹線林道(再掲)</li> </ul> </li> <li>■ 交通渋滞対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 渋滞対策プログラムに基づく交差点改良、バイパス、放射道路・環状道路等の整備</li> <li>• 高度道路交通システム(ITS)の整備</li> <li>• 交通管制センターの高度化</li> <li>• パークアンドライドの導入など交通需要マネジメント施策の推進</li> </ul> </li> <li>■ 災害に強い道路ネットワークの整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 道路防災施設の整備、橋梁等の耐震性の向上、代替ルート等の整備</li> </ul> </li> <li>■ 適切な道路管理の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 橋梁の長寿命化や補修費用の最小化・平準化を図る維持管理計画の策定及びその計画に基づく維持管理の推進</li> <li>• 既存道路の適切な維持管理の実施</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
(4) 効率的な物流ネットワーク等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東海北陸自動車道の全線開通を活かした物流拠点施設への県内外からの集荷の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 荷主企業に対する助成の活用、セミナー開催、個別企業訪問などのポートセールス活動の展開（再掲）</li> </ul> </li>   <li>■ 効率的で環境にやさしい物流の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業の物流効率化や環境対策の促進</li> <li>• 共同配送、モーダルシフトの普及など</li> <li>• グリーン物流の先進的な取組みに対する支援制度等のPR</li> </ul> </li> </ul>

## 16 空港・港湾などの充実による交通・物流ネットワークの形成

政策目標 (政策の目指すべき成果)

環日本海地域の交通・物流拠点として、空港・港湾機能やネットワークの充実が図られ、国内外との人、モノの交流が活発になっていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 富山空港の機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新規の国内・国際線の開設に向けた取組みの推進</li> <li>■ 既設路線の利用促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期便を利用した旅行商品のPR・旅行商品の開発への支援</li> <li>● 隣県（飛騨地方、上越地方等）へのPRや富山空港へのアクセス円滑化への支援</li> <li>● 海外の現地旅行エージェントに対する観光説明会、商談会の開催等（再掲）</li> <li>● 国際線を活用した国際交流への支援</li> </ul> </li> <li>■ 利便性の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京―富山線の飛行時間の短縮を図るための自衛隊訓練空域の調整</li> <li>● 利用しやすいダイヤ設定</li> <li>● 現在の施設を最大限に活用した空港の整備</li> </ul> </li> <li>■ 安全性の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冬季就航率の改善に向けた気象レーダーを活用した気象観測に関する調査研究 等</li> </ul> </li> </ul>
(2) 伏木富山港等の港湾機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 伏木富山港の港湾計画の検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 伏木富山港の効率的・効果的な整備・管理・運営のあり方の検討</li> </ul> </li> <li>■ 伏木富山港の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 多目的国際ターミナルの整備&lt;新湊地区&gt;                   <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンテナバースの延伸</li> <li>・ ガントリークレーンの増設</li> <li>・ コンテナヤードの拡張 等</li> </ul> </div> <p style="margin-top: 10px;">※多目的国際ターミナルの整備（新湊地区） 【H17：1バース1ガントリークレーン→H23：2バース2ガントリークレーン】</p> </li> <li>● 伏木外港の整備&lt;伏木地区&gt;</li> <li>● 富山外港建設のための調査&lt;富山地区&gt;</li> <li>● 港湾関連用地の利活用</li> <li>● 上屋の建替など物流倉庫の整備</li> <li>● 港湾環境の整備</li> <li>● 港湾施設の適正な維持・管理・運営</li> </ul> </li> <li>■ 魚津港の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震強化岸壁の整備</li> <li>● 物揚場の整備</li> <li>● 港湾施設の適正な維持・管理・運営</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">※伏木富山港及び魚津港における耐震強化岸壁の数 【H17：1バース→H23：2バース】</p> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 港湾サービス機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小口貨物取扱サービスなどのPR</li> <li>• コンテナヤード、アクセス道路等の除雪体制の強化</li> </ul> </li>   <li>■ 高速道路へのアクセス道路や港湾周辺道路の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 臨港道路富山新港東西線（新湊大橋（仮称））（参考）全体事業費 約410億円</li> <li>• 臨港道路伏木外港1号線（伏木万葉大橋）</li> <li>• 小矢部伏木港線、姫野能町線 等</li> </ul> </li> </ul>
<p>(3) 環日本海地域における物流ネットワーク等の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 伏木富山港への集荷の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県内・隣県企業にターゲットを絞った集荷セールスの展開</li> <li>• 伏木富山港利用のメリット（コスト、渋滞のないコンテナヤード・道路、環境面での優位性、災害時のリスク分散）を打ち出した伏木富山港の利用促進の働きかけ（再掲）</li> <li>• 伏木富山港の新規利用や利用拡大を図る荷主企業に対する助成の活用</li> <li>• 経済団体と連携した伏木富山港利用促進セミナーの開催</li> <li>• 荷主企業への個別訪問などポートセールス活動の強化（再掲）</li> </ul> <p style="text-align: center;">※伏木富山港のポートセールスで訪問等を行った企業の数 【H17：141企業→H23：300企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 荷主ニーズ等の継続的把握</li> <li>• 企業立地の促進や産業振興による新たな貨物需要の創出</li> </ul> </li>   <li>■ 国際・国内航路の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 船社に対する定期コンテナ航路の維持・充実の働きかけ（再掲） <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 釜山航路の充実・トランシップ迅速化</li> <li>・ 中国航路（大連、上海等）の拡充や利便性向上</li> <li>・ 中国南部、台湾や東南アジア方面への新規航路開設</li> <li>・ ロシア航路の振興</li> </ul> </div> </li> <li>• RORO船の定期航路化等による国際・国内航路の充実の働きかけ</li> <li>• 伏木富山港に定期コンテナ船、RORO船等を寄港させる船社に対する助成の活用</li> </ul> </li>   <li>■ 効率的で環境にやさしい物流の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 輸出入貨物の伏木富山港利用の促進、PR</li> <li>• 企業の物流効率化や環境対策の促進（モーダルシフト等）</li> </ul> </li> </ul>

## 17| 新幹線駅を中心とした新たな交流拠点づくりの推進

政策目標 (政策の目指すべき成果)

新たな時代に向けた富山県の玄関口である新幹線駅を中心に、人が活発に行き来する、個性的で魅力ある広域交流拠点が形成されていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 富山駅周辺の南北一体化の推進	<p>(新幹線建設を契機とした富山駅付近連続立体交差事業の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新幹線建設に併せた在来線の高架化 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山駅付近連続立体交差事業の推進〔H16～〕 (参考) 全体事業費 約345億円</li> <li>● 延長 JR線(北陸本線、高山本線) 約1.8km 富山地方鉄道線 約1.0km</li> </ul> </li> <li>※富山駅付近連続立体交差事業の進捗率 【H17：10%→H23：25%】</li> <li>■ 統一感のあるデザインによる駅舎(新幹線及び在来線)と周辺施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山駅周辺景観デザイン検討委員会の開催〔H18～〕</li> <li>● 事業手法や整備スケジュール等の調整、検討</li> </ul> </li> <li>■ 駅南北を結ぶ道路の新設、拡幅(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土地区画整理事業の促進 (富山市富山駅周辺地区土地区画整理事業)</li> <li>● 都市計画道路の整備推進 (都) 牛島蛭川線の整備</li> </ul> </li> <li>■ 歩行者用の南北自由通路等の整備(再掲) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土地区画整理事業の促進 (富山市富山駅周辺地区土地区画整理事業)</li> </ul> </li> <li>■ 富山ライトレールと富山地方鉄道市内軌道線との接続 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業手法や整備スケジュール等の調整、検討</li> </ul> </li> <li>■ 高架下空間の有効利用の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業手法や整備スケジュール等の調整、検討(商業・業務施設や駐車場等)</li> </ul> </li> </ul>
(2) 個性的で魅力ある交流拠点の整備	<p>(広域交流拠点としての機能の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 眺望や周辺景観との調和に配慮した駅舎等の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 景観・デザイン等に関する調整、検討(地元市の協議会等への参加)</li> <li>● 景観計画等を市が策定するにあたり、景観アドバイザーの派遣や事業費に対する助成等による支援(再掲)</li> </ul> </li> <li>■ 多目的広場や物産販売施設等の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業手法や整備スケジュール等の調整、検討</li> <li>● “富山ならではの”の観光土産品も含めた特産品の開発支援(再掲)</li> </ul> </li> <li>■ 国際化にも対応した案内表示や広域観光拠点としての情報発信機能等の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業手法や整備スケジュール等の調整、検討</li> <li>● 駅構内におけるパンフレット配置、観光案内板の整備などによる広域観光情報の提供充実(再掲)</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<p>(交通結節点機能の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■バスやタクシーなどとの乗継ぎ円滑化やパーク&amp;ライドなどに対応した利便性の高い駅前広場、駐車場、連絡通路等の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業手法や整備スケジュール等の調整、検討</li> <li>• 土地区画整理事業の促進（再掲）</li> </ul> </li>   <li>■既存鉄道線との乗継ぎのための新駅整備（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新駅整備(富山地方鉄道本線、JR城端線)に対する事業手法や整備スケジュール等の調整、検討</li> </ul> </li>   <li>■新幹線駅へのアクセス道路の整備（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国道8号バイパス（入善町梶山～魚津市江口）の整備促進 (参考) 全体事業費 約670億円</li> <li>• 黒部宇奈月線（黒部市荻生～若栗）の整備</li> <li>• 高岡環状線（高岡市佐野～六家）の整備</li> <li>• (都)呉羽町袋線(富山大橋の架替え)の整備〔H23新橋供用予定〕 等 (参考) 全体事業費 約250億円</li> </ul> </li>   <li>(駅周辺への商業・業務等の各種都市機能の集積)</li> <li>■計画的な土地利用の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 用途地域や地区計画等の活用にあたり、広域的な観点から技術的助言を行うなど、市のまちづくりを支援</li> </ul> </li> </ul>

## 18 快適で活力あるコンパクトなまちづくりの推進

政策目標 (政策の目指すべき成果)

地域の個性を活かし、都市機能が適正に集積、配置されたコンパクトで魅力ある都市やまちが形成され、ネットワーク化されていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 計画的な都市づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 都市計画区域の指定及び都市計画区域マスタープランの策定・推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 都市計画基礎調査の実施 (H19)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・対象：全都市計画区域 (21区域)〕</li> <li>〔・内容：各市町村の伸ばすべき特徴、将来危惧される悪影響等の把握、分析〕</li> </ul> </li> <li>• 都市計画区域及び都市計画区域マスタープランの適切な見直し                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・都市計画基礎調査を踏まえた都市計画区域の再編、都市計画区域マスタープランの見直し〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 土地利用制度の活用による市街地への都市機能の集積               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 区域区分 (市街化区域と市街化調整区域の区分) の適切な設定</li> <li>• 用途地域や地区計画等の活用にあたり、広域的な観点から技術的助言を行うなど、市町村のまちづくりを支援</li> <li>• 土地取引制度の適切な運用：一定規模以上の土地取引の届出について、適切な審査・指導を実施</li> <li>• 市町村が実施する地籍調査事業 (土地の境界、面積、形状等の正確な把握) に対する支援                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※地籍調査事業の進捗率 【H17：27.1%→H23：27.7%】</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 市街地再開発事業等による市街地への都市機能の集積               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地区画整理事業の促進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・砺波市杉木土地区画整理事業等〕</li> </ul> </li> <li>• 市街地再開発事業等の促進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・総曲輪通り南地区市街地再開発事業等〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 市街地周辺地域における無秩序な市街化の抑制、地域の特性を活かした快適な生活環境の形成、自然的環境の保全 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 区域区分 (市街化区域と市街化調整区域の区分) の適切な設定</li> <li>• 用途地域や地区計画等の活用にあたり、広域的な観点から技術的助言を行うなど、市町村のまちづくりを支援</li> <li>• 県民等によるうおいある景観づくりに対する支援 (景観アドバイザーの派遣、景観づくり活動への助成 等)</li> </ul> </li> </ul>
(2) 都市基盤施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 都市計画道路、都市公園等の都市基盤の整備推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 都市計画道路の整備推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・呉羽町袋線の整備 (富山大橋の架替え) (H23年度新橋供用予定) (参考) 全体事業費 約250億円 等〕</li> </ul> </li> <li>• 都市公園の整備推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・富岩運河環水公園の整備 (H21運河周辺完成予定)〕</li> <li>〔・県立都市公園の施設等の整備推進〕</li> </ul> </li> <li>• 上水道の整備推進 (再掲)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・水道事業体に対し、水道の広域化の推進や経営基盤の強化、老朽管の更新や耐震化の推進、水質管理体制の強化等を指導〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 下水道の整備推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 流域下水道の整備（神通川左岸流域下水道、小矢部川流域下水道）</li> <li>〔・ 公共下水道の整備（15市町村で実施）</li> </ul> </li> <li>• 富岩運河等の整備の促進（再掲）</li> <li>■ 土地区画整理事業等による都市基盤の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地区画整理事業の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 砺波市杉木土地区画整理事業等〕</li> </ul> </li> <li style="padding-left: 40px;">※土地区画整理事業が完了した地区の面積 【H17：3,941.8ha→H23：4,210ha】</li> </ul> </li> <li>• 市街地再開発事業等の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 総曲輪通り南地区市街地再開発事業等〕</li> </ul> </li> <li>■ 老朽住宅が密集する市街地の解消 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 住宅市街地総合整備事業、土地区画整理事業等による耐震性・耐火性の高い住宅の整備、公園・道路等の整備</li> </ul> </li> <li>■ 市街地等での交通渋滞対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 放射・環状道路等の整備（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 都市計画道路呉羽町袋線の整備（富山大橋の架替え）（H23年度新橋供用予定）</li> <li>〔・ 高岡環状道路（高岡市佐野～六家）の整備促進 等</li> </ul> </li> <li>• 富山駅付近連続立体交差事業の推進（H16～）（再掲）</li> </ul> </li> <li>■ とやまのみちフレッシュアップ事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 県民の意見を取り入れながら、既存の道路に「ひと工夫」加え、より安全、便利、快適な道路にする対策を実施</li> </ul> </li> <li>■ 都市のユニバーサルデザイン化の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 歩道等の段差解消、視覚障害者誘導用ブロック等の整備</li> </ul> </li> </ul>
(3) 美しいまちづくり、景観づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 重点的な景観の保全と創造（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 優れた景観を有する地域等の「景観づくり重点地域」指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 「重点地域基本計画」（重点地域における景観づくりに関する基本計画）の策定</li> <li>〔・ 「特定行為の景観づくり基準」（建築物の新築など、周辺景観に影響を与える特定の行為に係る景観保全上の基準）の策定</li> <li>〔・ 特定行為の事前届出に対する指導・助言</li> <li>〔・ 地域の景観と調和した建築物の改修に対する支援</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 屋外広告物の適正化（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 屋外広告物条例に基づく規制の強化</li> <li>• 違反屋外広告物の適正化</li> <li>• ガイドラインによる良質な屋外広告物の誘導</li> <li>• 良好な沿道景観づくりモデル事業の実施 (協議会の設置、現状調査、ガイドラインの策定、広告物の除去等改善)</li> </ul> </li> <li>■ 道路無電柱化の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「無電柱化推進計画」（H16～20）に基づき、市街地幹線道路における無電柱化を推進</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水辺を活かしたまちづくりの推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•富山の貴重な水辺を活かした「水辺のまち夢プラン」の推進 (市町村、住民等との協働による計画の策定、推進)</li> <li>•富岩運河環水公園及び富岩運河の賑わいづくり（H18～） 〔・環水公園を、富山駅北地区や富岩運河と一体的な賑わいの空間とするための方策の検討、実施〕</li> </ul> </li> <li>■歴史や文化を活かしたまちづくりに対する支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•伝統的建造物群保存地区である高岡市山町筋、南砺市五箇山の合掌造り集落における景観の保全、活用に対する支援</li> <li>•富山市の八尾・岩瀬、南砺市井波等の伝統的まち並みを活かしたまちづくりに対する支援</li> </ul> </li> <li>■花と緑あふれる地域づくりの推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•(財)富山県花と緑の銀行による花と緑のグループの育成・活動支援</li> <li>•新たな緑化活動のきっかけとなる1日花壇教室の開催</li> <li>•グリーンキーパーの各市町村への適正配置、資質向上のための各種研修等の実施</li> <li>•公園、学校、公共施設等における緑化推進と維持管理</li> <li>•シンボリック花壇の維持管理（花だより花壇、花時計等）</li> </ul> </li> <li>■美しい田園景観の創造・保全（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•散居景観の保全など地域特性を活かした景観づくりへの支援</li> <li>•農業生産基盤を活用した田園景観整備の推進 〔・水路、ダム、ため池等を活用した水辺空間の整備〕 〔・水路の法面や田んぼの畦畔への植栽 等〕</li> <li>•地域景観に配慮したほ場整備等の推進</li> </ul> </li> </ul>
(4) 県内各都市のネットワーク化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■県内各都市を結ぶ体系的な道路網の整備推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•市町村間を連絡する道路の整備</li> <li>•新幹線駅へのアクセス道路の整備</li> <li>•インターチェンジへのアクセス道路の整備</li> <li>•主要観光地へのアクセス道路の整備</li> </ul> <p style="text-align: center;">※都市計画道路の整備率 【H17：65.5%→H23：66.4%】</p> </li> <li>■公共交通ネットワークの確保（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•並行在来線運営会社の設立に向けた調査・検討</li> <li>•JR城端・氷見線活性化推進協議会の活動支援</li> <li>•鉄道、路面電車の施設整備に対する支援</li> <li>•バス路線（民営バス、コミュニティバス、NPOバス）の運行維持に対する支援</li> <li>•市町村等が行う公共交通の維持確保の取組みへの支援 〔・公共交通の利用促進を図るための計画策定〕 〔・パークアンドライド駐車場、バス停、電停等の施設整備 等〕</li> <li>•県内共通の交通ICカードシステムの導入に向けた調査検討</li> </ul> </li> <li>■公共交通機関相互の乗継ぎ円滑化の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•富山駅付近連続立体交差事業の推進（H16～）</li> <li>•高岡駅交通結節点改善事業の促進 (橋上駅舎の整備、路面電車との乗継ぎ円滑化、南北市街地の連携強化等)</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅など交通結節点における移動の円滑化や乗継ぎダイヤ改善のための支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・パークアンドライド駐車場や駐輪場の整備</li> <li>・万葉線の電停の新設（末広町電停（H19）、高岡駅に隣接した電停（～H27））</li> <li>・新幹線から既存鉄道への乗継ぎのための新駅整備（JR城端線、地鉄本線）</li> <li>・富山ライトレールと富山市内軌道線との接続</li> <li>・運行ダイヤの改善</li> </ul> </li> </ul>
<p>(5) 地域住民等との協働による都市づくり、まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域住民と市町村、民間企業等が協働で取り組むまちづくりへの支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくりに関する情報提供・助言の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・元気なまちづくりを考えるシンポジウム、ワークショップの開催〕</li> <li>・まちづくりアドバイザーの派遣</li> </ul> </li> <li>● 地区計画の活用にあたり、広域的な観点から技術的助言を行うなど、市町村のまちづくりを支援</li> <li>● 住民等が主体となって進める、歴史、伝統文化など地域の個性を活かしたまちづくりに資する都市基盤施設の整備推進 (街並みと調和した道路整備 等)</li> </ul> </li> <li>■ 地域住民との協働による道路、公園等の美化、維持管理活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路愛護ボランティア制度の普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・道路愛護ボランティアニュース、情報ボード等を通じての活動普及〕</li> </ul> </li> <li>● 富山の貴重な水辺を活かしたまちづくりの推進 (市町村、住民等との協働による計画の策定、推進)</li> <li>● 富岩運河環水公園及び富岩運河の賑わいづくり（H18～） <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・環水公園を、富山駅北地区や富岩運河と一体的な賑わいの空間とするための方策の検討、実施〕</li> </ul> </li> <li>● 県民等によるうるおいある景観づくりに対する支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・景観づくりに関する普及啓発〕</li> <li>・景観アドバイザーの派遣</li> <li>・景観づくり活動への助成 等〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

## 19 中心市街地の賑わいの創出

### 政策目標 (政策の目指すべき成果)

中心市街地に、居住、商業、業務、文化、福祉など各種機能が集積されて、賑わいが創出されていること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
<p>(1) まちなか居住など中心市街地への都市機能の集積</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ まちなか居住など多様な都市機能の集積の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中心市街地活性化基本計画への支援 (再掲)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 市町村の中心市街地活性化基本計画の策定に対する支援</li> <li>〔・ 基本計画に基づいて実施する、まちなか居住の促進、賑わい拠点の創出等の取組みに対する支援</li> </ul> </li> <li>● 住宅市街地総合整備事業等による耐震性・耐火性の高い住宅の中心市街地での整備など、まちなか居住の促進 (再掲)</li> <li>● 文化、福祉などの公共・公益施設の集積・再配置の促進</li> </ul> </li> <li>■ 市街地再開発事業等による都市機能の集積・再配置の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土地区画整理事業の促進 (再掲)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 黒部市三日市保育所周辺土地区画整理事業 等〕</li> </ul> </li> <li>● 市街地再開発事業等の促進 (再掲)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 総曲輪通り南地区市街地再開発事業 等〕</li> </ul> </li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">※市街地再開発事業等が完了した地区の区域面積 【H17：13.05ha→H23：15.15ha】</p> </li> <li>■ 伝統文化を活用したまちづくりの推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● おわら、曳山祭りなど地域の魅力的な伝統文化を活かしたまちづくりに対する支援</li> <li>● 富山市の八尾・岩瀬、高岡市の山町筋、南砺市の井波等の伝統的まち並みを活かしたまちづくりに対する支援</li> </ul> </li> <li>■ 水辺を活かしたまちづくりの推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山の貴重な水辺を活かした「水辺のまち夢プラン」の推進 (市町村、住民等との協働による計画の策定、推進)</li> <li>● 富岩運河環水公園及び富岩運河の賑わいづくり (H18～)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 環水公園を、富山駅北地区や富岩運河と一体的な賑わいの空間とするための方策の検討、実施</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 地域住民等が主体となって取り組むまちづくりへの支援 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくりに関する情報提供・助言の実施</li> <li>● 元気なまちづくりを考えるシンポジウム、ワークショップの開催</li> <li>● まちづくりアドバイザーの派遣</li> </ul> </li> <li>■ 安全で快適な歩行空間の確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>● あんしん歩行エリアにおける安全で快適な歩行空間の確保</li> <li>● バリアフリー重点整備地区における安全で快適な歩行空間の確保</li> </ul> </li> <li>■ 大規模集客施設の適正な立地の誘導 (再掲)               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 広域的なまちづくりの観点から、大規模集客施設の適正な立地を誘導</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
(2) 中心商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 魅力ある商業空間を形成する取組みへの支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• NPO法人等が行うイベント等のまちの賑わいを創出する取組みに対する支援</li> <li>• 商店街が自ら取り組む独自の総合的な活性化策に対する支援</li> <li>• 生鮮食料品や日用雑貨品などの日常生活に不可欠な店舗の再生に対する支援</li> </ul> </li>   <li>■ 大規模小売店舗立地法の特例措置による大型店の中心市街地への誘導（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中心市街地で大規模小売店舗立地法の特例措置を適用し、県への事前届出など大型店出店時の出店手続き等を簡素化</li> </ul> </li> </ul>
(3) 土地の高度利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 多様な土地利用制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 用途地域や高度利用地区等の土地利用制度の活用にあたり、広域的な観点から技術的助言を行うなど、市町村のまちづくりを支援</li> </ul> </li>   <li>■ 市街地再開発事業等の促進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地区画整理事業の促進（再掲） 〔・黒部市三日市保育所周辺土地区画整理事業 等〕</li> <li>• 市街地再開発事業等の促進（再掲） 〔・総曲輪通り南地区市街地再開発事業 等〕</li> </ul> </li>   <li>■ 地籍調査の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 市町村が実施する地籍調査事業に対する支援 (土地の境界、面積、形状等の正確な把握)</li> </ul> <p style="text-align: center;">※地籍調査事業の進捗率 【H17：27.1%→H23：27.7%】</p> </li> </ul>
(4) 中心市街地の賑わいを支える公共交通の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中心市街地へのアクセスの向上及び中心市街地における回遊性の向上（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 富山地方鉄道市内軌道線の複線化（安野屋電停～大学前電停）（H23供用予定） (都市計画道路呉羽町袋線線の整備（富山大橋の架替え）に併せ実施予定)</li> <li>• 富山ライトレールと富山市内軌道線との接続</li> <li>• バス路線の運行費、車両購入費に対する支援</li> <li>• LRT、コミュニティバス等への支援 〔・万葉線の電停新設、新型低床車両導入に対する支援 ・コミュニティバス等の計画策定や実証実験に対する支援 等〕</li> <li>• 市町村等が行う公共交通の維持確保の取組みへの支援 〔・公共交通の利用促進を図るための計画策定 ・パークアンドライド駐車場、バス停、電停等の施設整備に対する助成 等〕</li> </ul> </li>   <li>■ 公共交通機関相互の乗継ぎ円滑化の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高岡駅交通結節点改善事業の促進 (橋上駅舎の整備、路面電車との乗継ぎ円滑化、南北市街地の連携強化等)</li> <li>• 駅など交通結節点における移動の円滑化や乗継ぎダイヤ改善のための支援 〔・パークアンドライド駐車場や駐輪場の整備 ・万葉線の電停の新設（末広町電停（H19）、高岡駅に隣接した電停（～H27）） ・運行ダイヤの改善〕</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
(5) 拠点駅周辺の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 富山駅付近連続立体交差事業による南北一体化の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 富山駅付近連続立体交差事業の推進（再掲）（H16～）</li> <li>• 駅南北を結ぶ道路の新設・拡幅、歩行者用通路の整備</li> </ul> </li>   <li>■ 県内拠点駅における駅舎、駅前広場、駐車場、アクセス道路の整備推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通結節点改善事業による駅舎、駅前広場等の整備促進（高岡駅交通結節点改善事業）</li> <li>• 土地区画整理事業による駅前広場、駐車場等の整備促進（富山市富山駅周辺土地区画整理事業等）</li> <li>• アクセス道路の整備</li> </ul> </li>   <li>■ 交通結節機能の充実（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共交通機関相互の乗継ぎ円滑化の推進</li> <li>• 新幹線から既存鉄道への乗継ぎのための新駅整備（JR城端線、地鉄本線）</li> <li>• 駅舎、電停のバリアフリー化 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・万葉線電停の段差解消〕</li> <li>〔・富山地方鉄道線駅舎の視覚障害者誘導用ブロック整備〕</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

## 20 情報通信基盤の充実と活用

### 政策目標 (政策の目指すべき成果)

高度情報通信ネットワークを活用して、誰もがいつでもどこでも、情報の取得・発信や、様々な行政や民間の手続き・取引、動画像レベルのコミュニケーションが行えること。

### 重点施策・主な事業等

重点施策	主な事業等
(1) 高度情報通信ネットワーク基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 超高速ブロードバンド（双方向30Mbps以上の速度）の整備促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 整備促進に関する検討会の設置                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者、通信事業者、国、市町村等</li> <li>・ 超高速ブロードバンド整備の具体的な方策についての検討（FTTHの整備、CATVの高度化等）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 企業団地等への超高速ブロードバンド整備の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 整備促進方策についての検討</li> </ul> </li> <li>■ 携帯電話の不感地帯解消の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動体通信用の鉄塔整備に対する助成（市町村）</li> <li>● CATV網の活用</li> </ul> </li> <li>■ 研究開発用の次世代ネットワーク運用への支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)富山県総合情報センターに設置する本県アクセスポイント（※1）の運用</li> <li>● 大学、研究機関、企業等への開放による研究開発、利活用の促進</li> </ul> </li> <li>■ 地上デジタル放送の普及               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地上デジタル放送の難視聴地域の解消を促進（2011年7月、アナログ放送終了）</li> </ul> </li> </ul>
(2) 様々な分野における情報通信技術の活用	<p>（電子自治体の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電脳県庁の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県ホームページの充実</li> <li>● 電子申請システム等の電脳県庁システムの運用と使いやすさの向上                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子申請システム 24時間、365日、インターネットを利用した県に対する申請・届出等（職員採用試験申込み等）</li> <li>・ 公的個人認証サービスの運営 インターネットを利用した申請・届出を安全に行うための電子証明書の発行</li> <li>・ 電子入札システム インターネットを利用した公共工事等の入札</li> <li>・ 電子申告システム インターネットを利用した法人県民税、法人事業税の申告</li> </ul> </li> <li>● 文書管理システム、職員認証システム等基盤システムの運用及び使いやすさの向上</li> <li>● 地理情報システム（GIS）の統合化の推進 （今後整備する地理情報システム（GISエンジン等）の統一化の促進）</li> </ul> </li> </ul>

（※1）アクセスポイント：研究開発用次世代ネットワークの接続拠点は、県内では唯一、(株)富山県総合情報センター内に設置されており、利用者はその接続拠点を經由して全国の利用者とネットワークを形成し研究活動を行うことができる。

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報リテラシー研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 情報活用能力、セキュリティ知識等の習得</li> <li>〔・ 新任職員研修、文書管理システム研修、情報セキュリティ研修〕</li> </ul> </li>   <li>■ 行政情報ネットワークの整備・運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国、地方を結ぶ総合行政ネットワーク（LGWAN）の運用</li> <li>● 「とやまマルチネット」の運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ CATVファイバ網を活用した県域情報スーパーハイウェイ</li> <li>〔・ 県庁、県出先機関、市町村、県立学校のネットワーク化〕</li> </ul> </li> <li>● デジタル映像を蓄積・発信する「とやまオンライン映像館」の運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 県内外で実施されるお祭りやイベント等の映像のライブ配信〕</li> <li>〔・ 行政情報、学習支援情報等の蓄積映像の提供〕</li> </ul> </li> <li>● 住民基本台帳ネットワークシステムの運用</li> <li>● 庁内LANの運用保守、汎用コンピュータの運用管理</li> </ul> </li>   <li>（安全安心な暮らしのための情報通信技術の活用）</li> <li>■ 災害情報通信システムの強化（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害時の各種情報の収集・伝達を行う情報システムの充実強化</li> </ul> </li>   <li>■ 環境関連情報システムの運用（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大気環境ネットワークシステムの運用 （設置場所：大気汚染常時観測局）</li> <li>● 地下水位観測システムの運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 設置場所：基幹観測井（4箇所）</li> <li>〔・ 地下水位、地下水塩水化状況等の観測〕</li> </ul> </li> <li>● 環境情報管理システムの運用</li> </ul> </li>   <li>（医療・福祉分野における情報通信基盤の活用）</li> <li>■ 救急医療情報システムの運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 救急医療や災害時医療の情報提供システムの充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ 県内医療機関、休日夜間当番医、休日夜間救急センター等の情報提供 （一般県民、医療機関関係者、消防関係者向け情報）</li> <li>〔・ 大規模災害時の医療機関の被災・稼働状況等の情報提供 （医療機関向け情報、厚生労働省広域災害・救急医療情報システムの活用）〕</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 福祉保健医療情報ネットワーク（WAMネット）による福祉サービス等の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県民が必要とする福祉サービスやボランティア等の情報提供</li> </ul> </li>   <li>（教育分野における情報通信基盤の活用）</li> <li>■ 県立大学の電子化推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 先進的な教育研究活動を支援するコンピュータ・ネットワークシステム等の運用</li> <li>● オンライン教育支援システムの活用推進 （学生のパソコンで、レポートの提出、教員への質問等を実施）</li> </ul> </li>   <li>■ 科学技術教育設備の充実（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 校内LAN用のパソコン整備</li> <li>● パソコンルームのパソコン整備</li> </ul> </li>   <li>■ 富山県教育情報通信ネットワーク（教育ネット）の運用（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>● とやまマルチネットを活用した教育の情報化</li> </ul> </li> </ul>

重点施策	主な事業等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生涯学習の推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>•とやま学遊ネットの運営</li> <li>•富山インターネット市民塾の利活用の推進</li> </ul> </li> </ul>
<p>(3) 情報通信技術を活用した新しいライフスタイルの普及や地域産業の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高度情報通信ネットワークを活用した新しいライフスタイルの普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ITを活用したオフィス間連携の取組みの普及促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・在宅勤務やSOHOを普及促進するための検討委員会の設置</li> <li>〔・ ITを活用したオフィス間の効果的な連携による地域活性化や行政、産業の活性化の検討</li> </ul> </li> <li>• SOHO事業者に対する支援</li> <li>• 情報通信技術を活用した新しい豊かなライフスタイルの実現方策の検討 (豊かな自然環境の活用、地域・産業・行政の連携等の検討)</li> </ul> </li> <li>■県立大学のオンライン教育支援システムの活用推進（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学生のパソコンで、レポートの提出、教員への質問等を実施</li> </ul> </li> <li>■県民のIT活用能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ITセンターによる情報リテラシー研修の実施</li> </ul> </li> <li>■電子商取引導入の支援（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 普及啓発セミナーの開催</li> <li>• 入門、実践講座の実施</li> <li>• ネットショップ開設に向けての実践的ワークショップの開催に対する助成</li> </ul> </li> <li>■IT関連産業の振興（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>• ITを活用した企業の業務改革・電子商取引等のモデル的なシステム開発に対する助成</li> <li>• ITセンター(マルチメディア情報施設)における映像等のソフトウェア制作支援</li> <li>• 新産業・ベンチャー創出支援資金の融資（IT推進枠）</li> <li>• (株)富山県総合情報センターにおけるIT関連産業の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・ インキュベーション施設の提供、入居企業への支援〕</li> <li>〔・ 研究開発、人材育成、情報交流活動等〕</li> </ul> </li> <li>• 富山県高度情報通信ネットワーク社会推進協議会（e-Toyama推進協議会）が実施するITを活用した実証実験事業（産学官の連携により実施）に対する助成</li> </ul> </li> </ul>